

## 令和3年度 第2回 高知支部評議会

### 令和4年度支部保険者機能強化予算の策定に向けて

令和3年9月24日



全国健康保険協会 高知支部  
協会けんぽ

評議員の皆様へ

令和4年度支部保険者機能強化予算の策定に向けて、保険者機能強化の観点から、『医療費適正化対策事業』『広報関連事業』『保健事業』について、自由なご意見をお聞かせください。

## 目次

令和3年度の支部保険者機能強化予算について	P 2~2
医療費適正化対策経費	P 3~3
広報意見発信経費	P 4~6
健診経費	P 7~9
保健指導経費	P10~12
重症化予防事業経費	P13~13
コラボヘルス事業経費	P14~15
その他の経費	P16~16
【資料】高知支部のジェネリック医薬品に係る現状分析と対策について	P17~28
【資料】令和元年度高知支部の医療費等について	P29~38
【資料】健診、保健指導等の実施状況について	P39~45

# 令和3年度の支部保険者機能強化予算について

協会の予算（業務経費等の事務費）は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。

- ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算（基礎的業務関係予算）
- ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な予算（医療費適正化等予算）
- ③ 受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な予算（保健事業予算）

このうち、②及び③の予算については、「**支部保険者機能強化予算**」として、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組みを実施する場合に予算計上する経費となる。

予算区分		分野	令和3年度予算額
支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な経費	医療費適正化対策経費	2,768千円
		広報・意見発信経費	6,644千円
支部保健事業予算	受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な経費	健診経費	18,437千円
		保健指導経費	3,032千円
		重症化予防事業経費	968千円
		コラボヘルス事業経費	2,022千円
		その他の経費	730千円

## 医療費適正化対策経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
1	位置情報を利用したジェネリック医薬品の使用促進広報	高知支部におけるジェネリック医薬品使用割合は74.0%（令和2年6月診療分）で全国44位と低迷しており、大きく巻き返しを図る必要がある。そこで、ジオターゲティング広告とランディングページを活用し、医療機関や薬局へ通院されている方に対して、ジェネリック医薬品に関する知識の啓発をおこなう。	ジオターゲティング広告とランディングページを活用し、医療機関や調剤薬局に滞在している方にターゲットを絞ることで、効率的に広報をすることができる。	1,727千円
2	お薬手帳ホルダーの配付	「ジェネリック医薬品を希望します」と記載したお薬手帳ホルダーを作成し、軽減額通知の対象者や多剤服用者等をターゲットに配付することで、ジェネリック医薬品の使用促進を図る。	ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がるだけでなく、お薬手帳を使用することで、医薬品の相互作用や重複服用等を解消し、医療費の抑制、並びにポリファーマシーの防止が期待できる。	770千円
3	医療機関での配付用申請書セット作成	限度額適用認定、出産育児一時金、治療用装具の各種制度にかかるリーフレットと、申請書をセットにして医療機関や市町村等へ備え付け、申請される加入者へ配付してもらう。	加入者が協会けんぽへ問い合わせ等をする事なく、必要な情報を得ることができるとともに、申請書を手にする事ができる。	271千円
-				

## 広報・意見発信経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
4	紙媒体による広報	①納入告知書同封チラシ「協会けんぽからのお知らせ（月刊）」等を作成し、事業所に対し協会事業の周知を図る。 ②保険証の適正使用ポスターを作成し、医療機関に掲示してもらうことで、資格喪失後受診の抑制を図る。	①事業所における健康保険事業の理解促進。 ②資格喪失後受診に伴う返納金の抑制。	1,467千円
5	フリーペーパーを利用したジェネリック医薬品の使用促進広報	高知県の新聞占有率88.45%（令和2年7月、ABC部数）を誇る高知新聞の折り込みやコンビニエンスストア、書店等にて無料配布されるフリーペーパー（毎月18万部～20万部発行）へ広告を掲載することにより、加入者を含む県民にジェネリック医薬品に関する知識の啓発をおこなう。	加入者にジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。なお、当該フリーペーパーは、高知新聞の朝刊折り込みのほか、高知市とその近郊ではコンビニエンスストアや量販店、書店、大学等でも無料配布されているため、新聞を購読していない層に対しても広報することができる。	319千円
6	電車広告を利用したジェネリック医薬品の使用促進広報	高知県の中央地域を運行する高知市の市内電車へ広告を掲載することにより、加入者を含む県民にジェネリック医薬品に関する知識の啓発をおこなう。	加入者を含む県民にジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。なお、高知市の市内電車における運行エリアは高知県人口の約56%をカバーしており、年間で延べ6百万人以上（平成29年度、6歳未満除く）が利用しているため、多くの人々に繰り返し広報することができる。	792千円
7	バス広告を利用したジェネリック医薬品の使用促進広報	高知県の中央地域を運行する高知市の市内バスへ広告を掲載することにより、加入者を含む県民にジェネリック医薬品に関する知識の啓発をおこなう。	加入者を含む県民にジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。なお、高知市の市内バスにおける運行エリアは高知県人口の約68%をカバーしており、年間で延べ3百万人近く（平成29年度、6歳未満除く）が利用しているため、多くの人々に繰り返し広報することができる。	581千円

## 広報・意見発信経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
8	経済団体の会報誌を利用したインセンティブ制度の周知広報	インセンティブ制度に係る令和元年度の実績データにおいて、高知支部は全国46位と低迷しており、大きく巻き返しを図る必要がある。そこで、事業主が目にする経済団体の会報誌にチラシを同封することで、健診や特定保健指導、要治療者の医療機関受診等、各評価指標の今後の取組み強化に繋げる。	事業主にインセンティブの内容や現状を周知することにより、評価指標の各数値向上に繋がる。	164千円
9	イベント会場等におけるジェネリック医薬品使用促進広報	ジェネリック医薬品のチラシを作成し、県内で実施される様々なイベント会場（すこやか2021、赤ちゃん会、RKCらんど、高新文化教室等）で設置・配布するほか、医療機関や調剤薬局、健康保険委員へ送付することにより、ジェネリック医薬品に関する知識の啓発をおこなう。	加入者にジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。	95千円
10	「赤ちゃん会」特集紙面でのジェネリック医薬品の使用促進広報	高知支部のジェネリック医薬品使用割合は全国下位に低迷しており、乳幼児や小児の使用割合は全国と10%以上の乖離がある。そこで、県内で生まれる約4割の新生児が参加する高知新聞の育児支援事業「赤ちゃん会」の特集紙面に広告を掲載し、新生児をもつ親をターゲットとしてジェネリック医薬品に関する知識の啓発をおこなう。	加入者にジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。	743千円
11	お誕生おめでとう紙面でのジェネリック医薬品の使用促進広報	県内在住の1歳未満の赤ちゃんを対象に、氏名・誕生日・両親の名前などが掲載される、高知新聞の「お誕生おめでとう」紙面に広告を掲載することにより、主に赤ちゃんをもつ親をターゲットとしてジェネリック医薬品に関する知識の啓発をおこなう。	加入者にジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる。	913千円

## 広報・意見発信経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
12	Web広告等を利用した適正受診の周知広報	令和元年度に本部が実施した加入者の理解度調査において、高知支部は「大病院の特別加算」に対する認知率が43.8%（全国54.9%）、「ハシゴ受診」に対する認知率が40.5%（全国46.1%）と、適切な医療のかかり方に関する理解度に課題があるため、これらの周知を図り、加入者へ理解を浸透させる。	加入者が適切な医療のかかり方を理解することで、医療費の削減に繋がる。	1,570千円
-				
-				
-				

## 健診経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
13	事業者健診HbA1c追加検査費	事業者健診実施前に食事を摂取し、やむなく随時血糖検査（3.5時間未満）を実施する者へ、同一検体を使用してHbA1c検査を実施し、その費用を協会けんぽが健診機関に支払い、血糖データの提供を受ける。	事業者健診データを取得する際の問題点（食後3.5時間未満の血糖値は取得できない）に対し、HbA1c検査を健診機関で追加実施し、血糖データの提供を受けることにより、健診受診率が向上。	1,056千円
14	治療中の者の検査結果情報提供料	治療中の方の検査結果に不足する特定健診の項目を医療機関で追加実施し、検査結果情報の提供を受ける。	情報の提供を受けることで、健診受診率が向上。	75千円
15	事業者健診の結果データの取得（健診実施機関による委任状取得の委託費）	健診機関が事業主から委任（同意）状を取得し、健診データを健診機関が直接、協会けんぽへ提出する。	健診機関から直接、健診データを取得することによって、特定健診の受診率が向上。	110千円
16	事業者健診の結果データの取得（事業主等によるデータ作成に要する費用）	事業所・健診機関から事業者健診データを電子媒体で受け取り、その作成手数料を支払う。	データ化（電子化）された健診データを受け取ることによる事業者健診データの効率的な取得。	385千円



## 健診経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
17	事業者健診データ同意書及びデータ取得の外注	外注業者から勧奨を実施し、同意書及びデータ取得件数を増やす。	事業者健診データ取得件数（取得率）の向上、ひいてはインセンティブの指標である特定健診等の受診率の向上。	5,643千円
18	特定健診集団健診の実施（9月～3月開催）	特定健診とがん検診を同時に実施できる健診実施機関に委託し、未受診者を対象としたオプション健診を、9月に集客が見込めるショッピングモールで、また、年度末に県内各エリアで実施する。	オプション健診による付加価値やがん検診との同時実施による健診の利便性を図り、買い物に行き慣れたショッピングモールを会場とすることで、健診無関心層の行動変容を促し、また、年度末最後の未受診者対策により、特定健診の受診率が向上。	2,374千円
19	高知市と連携した特定健診とがん検診の同時実施	高知市と連携し、年度末に高知市在住の未受診者を対象とした特定健診とがん検診の同時実施を開催する。	がん検診との同時実施による健診の利便性及び年度末最後の未受診者対策により、特定健診の受診率が向上。	1,142千円
20	圧着ハガキによる特定健診の受診勧奨	市町村の設定している集団健診の日程に合わせ、未受診者への受診勧奨を圧着ハガキで行う。	開封率が高いとされる圧着ハガキを利用した受診勧奨により、特定健診の受診率が向上。	1,210千円

## 健診経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
21	健診推進経費	健診受診者数等の目標値を設定の上、健診機関等がその目標値を達成した場合に、報奨金を支払う。	健診機関等との連携・協力が促進し、健診受診率が向上。	4,180千円
22	次年度健診年次案内用受診勧奨チラシ作製	支部独自の受診案内を作成し、年次案内に同封する。	健診受診率の向上。	1,272千円
23	新規加入事業所への健診案内等の発送業務外部委託	支部において実施している新規適用事業所への健診案内等を外部委託により実施し、定期的な受診勧奨を図る。	定期的な健診案内により、確実に健診継続者及び健診未受診者へ受診勧奨を行うことができ、健診全体の受診率が向上する。	990千円
-				

## 保健指導経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
24	中間評価時の血液検査費	特定保健指導利用者の生活習慣改善意識の維持向上を図るとともに、特定保健指導における検査結果の活用を目的として、血液検査等検査を希望する特定保健指導利用者に対して実施する。	生活習慣の改善。	1,320千円
25	医師謝金	保健指導に対して医学的な意見・助言を行う医師に対して支払う。	保健指導従事者のスキルの向上。	77千円
26	保健指導用パンフレット作成等経費	特定保健指導対象者等へ生活習慣改善の啓発を行う。	生活習慣の改善。	200千円
27	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	特定保健指導対象者等へ生活習慣改善の啓発を行う。	生活習慣の改善。	405千円

## 保健指導経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
28	保健指導用図書購入費	保健指導の効果的な実施方法等知識の習得を行う。	保健指導従事者のスキルの向上。	66千円
29	公民館等における特定保健指導	土曜日・日曜日等に特定保健指導を実施し、特定保健指導の利用勧奨を促進する。	特定保健指導実施率の向上。	40千円
30	保健師募集広告経費	支部が行う契約保健師の求人については、各支部のホームページ等を通じて行っているが、求職者の情報取得の機会を拡充する。	保健師・管理栄養士の人材確保。	50千円
31	保健指導推進経費	特定保健指導実績に対する報奨金を支払う。	特定保健指導実施機関との連携・協力が促進し、特定保健指導実施率が向上。	271千円

## 保健指導経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
32	特定保健指導に係る「共同利用」のお知らせ印刷	被保険者の保健指導を円滑に実施するため、健診結果に健診結果データの共同利用に係る文書を同封。	保健指導の円滑な実施。	515千円
33	特定保健指導利用勧奨	被扶養者に、利用券送付1か月後に利用勧奨文書を送付する際に、特定保健指導利用を促すリーフレットを同封する。	被扶養者の特定保健指導実施率向上。	88千円
-				
-				

## 重症化予防事業経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
34	未治療者受診勧奨	健診結果（血圧値または血糖値）で要治療と判断されながら医療機関を受診していない治療放置者に対して受診勧奨を行う。	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	324千円
35	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則って実施。治療中でコントロール不良者などに医療機関と連携した重症化予防事業を行う。	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	50千円
36	健診結果に基づく健診機関による治療勧奨	生活習慣病予防健診実施機関での血圧・血糖の二次勧奨対象者（収縮期血圧180mmHg以上、拡張期血圧110 mmHg以上、空腹時血糖160mg/dl以上、HbA1c8.4%以上のいずれかに該当する重症域の方）への受診勧奨を行う。	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	594千円
-				

## コラボヘルス事業経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
37	事業所での集団（健康）学習の実施	保健師・管理栄養士が事業所に出向き、従業員を対象とした健康学習を開催する。同時に、特定保健指導対象者がいる場合は、学習後に個別で指導を実施する。事業所の希望があれば、血圧計を貸し出し、家庭血圧を記録し、血圧計と記録票を回収した後に、血圧の状況を評価して本人に指導を行う。	事業所ぐるみの健康増進意識の高揚。	157千円
38	健康経営にかかる事業所への情報提供	健康経営への取り組みについて、特に優れた事業所の事例を纏めた冊子を配付し、好事例の横展開を図る。また宣言事業所に対しては、健康経営の詳しい資料を配付することで、より理解を深めてもらう。	健康経営の好事例を纏めて配付することで、健康経営に取り組む事業所が増加する。また、すでに取り組んでいる事業所においては、健康経営の質の向上に繋がる。	825千円
39	「こうち健康企業プロジェクト」と連携した健康経営の普及促進	高知県民の働き盛り世代の健康づくりを応援する高知新聞主催の「こうち健康企業プロジェクト」に協賛し、事業所への顕彰制度である「高知家健康経営アワード」やセミナー開催、新聞紙面を利用した啓発等を通じて、健康経営の普及促進を図る。	健康経営について、関係団体と連携した啓発をおこなうことで、より多くの事業主に訴求することができる。	489千円
40	「職場の健康づくり応援研修会」開催	高知支部、高知県、高知市が連携し、事業所の健診等の担当者に対して、健康づくりや健康保険制度等に関する研修会を開催する。	事業所担当者に健康づくりや健康保険制度に関する知識を深めていただくことで、事業所内における健康づくりや加入者の制度周知に繋がる。	95千円

## コラボヘルス事業経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
41	経済団体の会報誌を利用した健康経営の普及促進	健康経営を広めていくためには事業主の理解が不可欠であるため、事業主が目にする経済団体の会報誌に、健康経営や健康保険委員のリーフレットを同封することで、健康経営の普及促進を図る。	事業主に直接訴求することで、健康経営に取り組む事業所が増加する。	456千円
-				
-				
-				



## その他の経費（令和3年度事業一覧）

項番	取組名	概要	期待効果	予算額
42	Let's start! オフィスdeエクササイズ	受講者5名以上の事業所に健康運動指導士を派遣し、職場内で行える健康体操の指導を行い、事業所内での運動習慣を定着させることが目的。参加事業所には、健康運動指導士が考案した支部オリジナル健康体操DVDを進呈。指導当日と3ヶ月後にアンケートを行い、継続状況を把握。	従業員間のコミュニケーション増進、肥満・高血圧対象者の運動習慣に対する意識の向上と運動習慣の定着。その結果、事業所全体の健康度の向上や、コミュニケーションの増加でメンタルトラブルの予防につながり、生産性の向上が期待できる。	403千円
43	健康づくりに関するメルマガでの情報発信	医師へ専門的見地に基づき医療・健康に関するコラムを執筆してもらい、メルマガを通して加入者へ情報を提供する。また支部ホームページにも、メルマガのバックナンバーとして掲載する。	加入者の疾病予防や健康増進に対する意識向上に繋がる。	180千円
44	保健事業計画に係るアドバイザー経費	保健事業の効果的な実施方法を検討・実行する上での有識アドバイスにかかる経費。	保健事業実績の向上。	147千円
-				

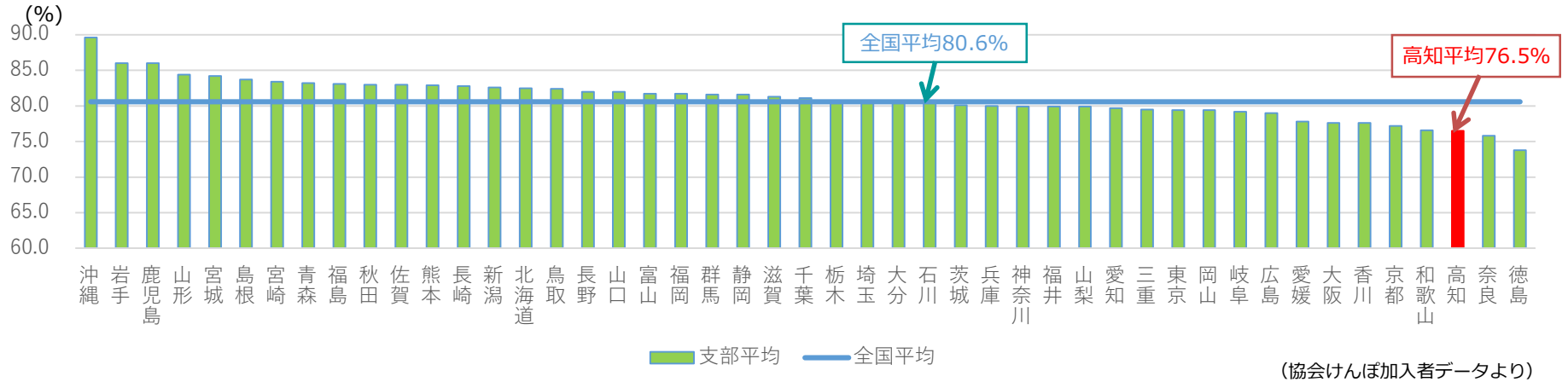
## 高知支部のジェネリック医薬品に係る現状分析と対策について

## 本資料のデータについて

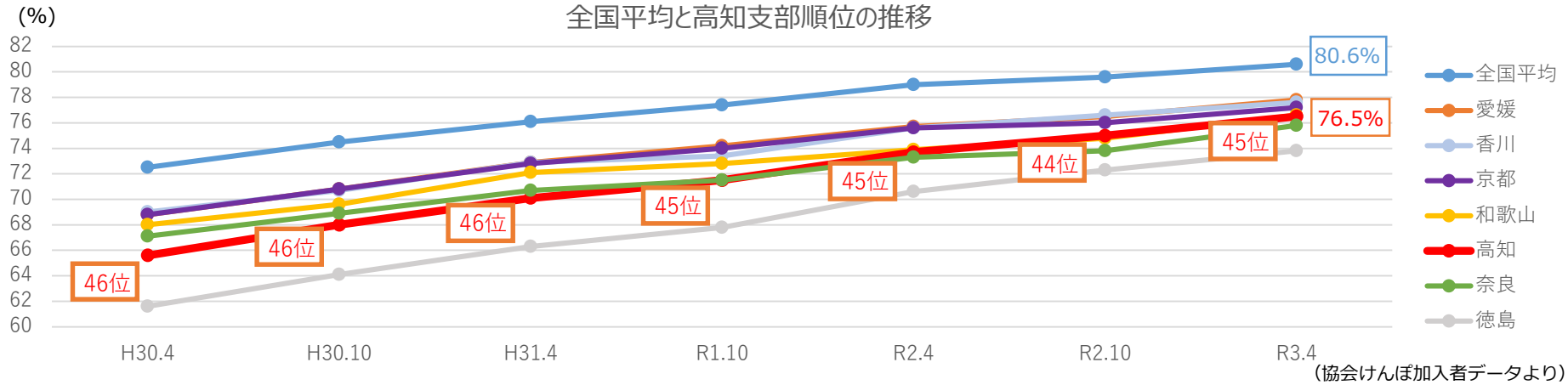
- 注1. 協会けんぽ（一般分）の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）  
なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。  
※資料4～資料6については、歯科レセプト集計対象外。
- 注2. 加入者の適用されている事業所所在地の都道府県毎に集計したものである。  
※資料4～資料6については、医療機関の所在地の都道府県毎に集計したデータ。
- 注3. 「新指標による後発医薬品使用割合（数量ベース）」は、 $\frac{[\text{後発医薬品の数量}]}{([\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量}] + [\text{後発医薬品の数量}]}$  で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」に基づいて設定している。
- 注4. 「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。ただし、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬、漢方を除く。
- 注5. 薬効分類は、「日本標準商品分類」の「中分類87-医薬品及び関連製品」に準拠して設定している。
- 注6. 医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。
- 注7. 年齢は、実際の診療年月末日時点である。
- 注8. 社会保険診療報酬支払基金から請求のあったレセプト（再審査分を除く）を集計対象とし、請求月の前々月を診療年月として表示している。（例えば、令和2年4月診療で集計対象としているのは、令和2年6月に社会保険診療報酬支払基金から請求のあったレセプトである。）

# 1. 全国平均と比較した高知支部のジェネリック医薬品の使用割合について（数量ベース）

ジェネリック使用割合（数量ベース） 令和3年4月診療分



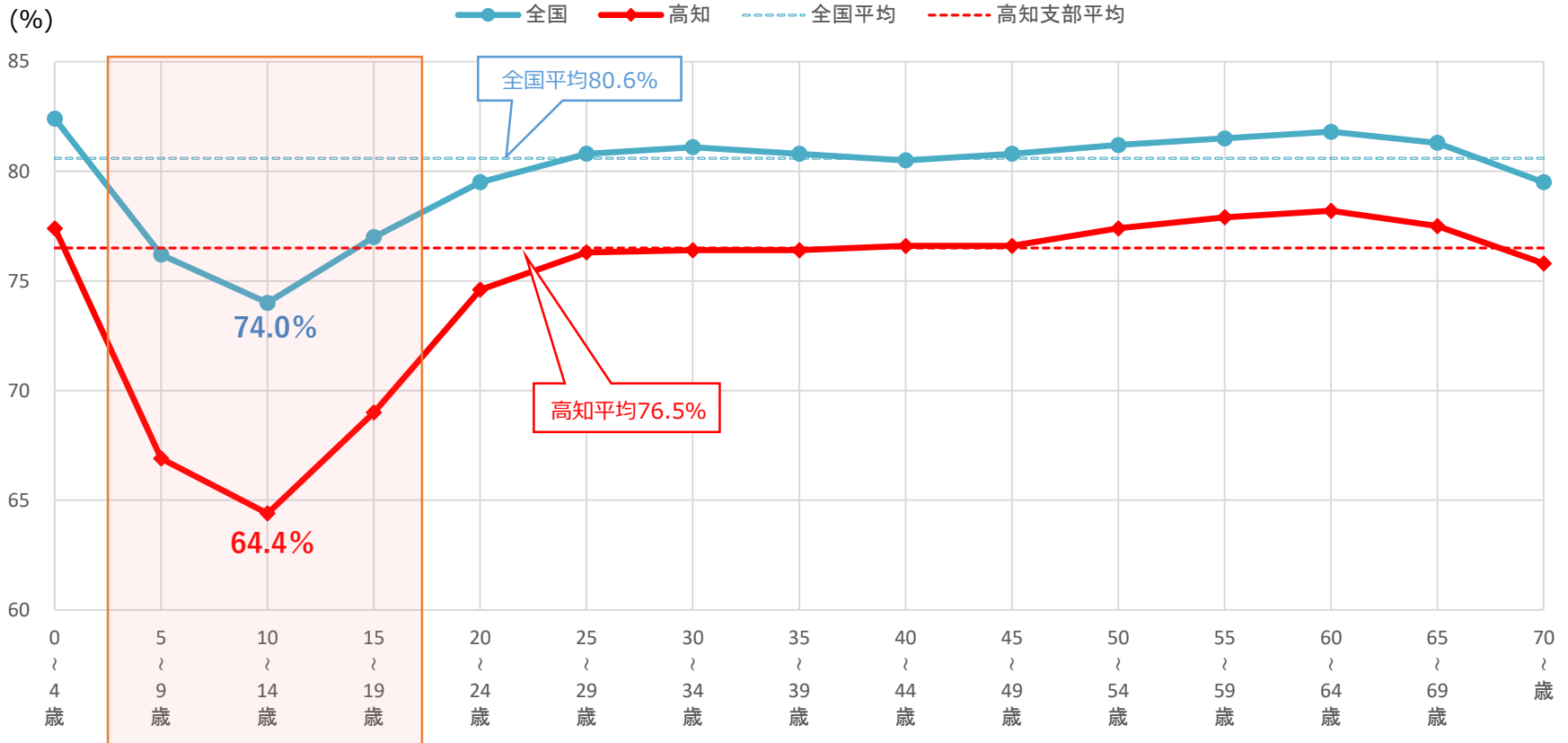
全国平均と高知支部順位の推移



全国平均・高知平均の使用割合は着実に伸びてきており、全国平均は国の目標である80%に到達しています。

## 2. 年齢区分別ジェネリック医薬品使用割合の全国平均との比較について（数量ベース）

年齢区分別ジェネリック使用割合（令和3年4月診療分）

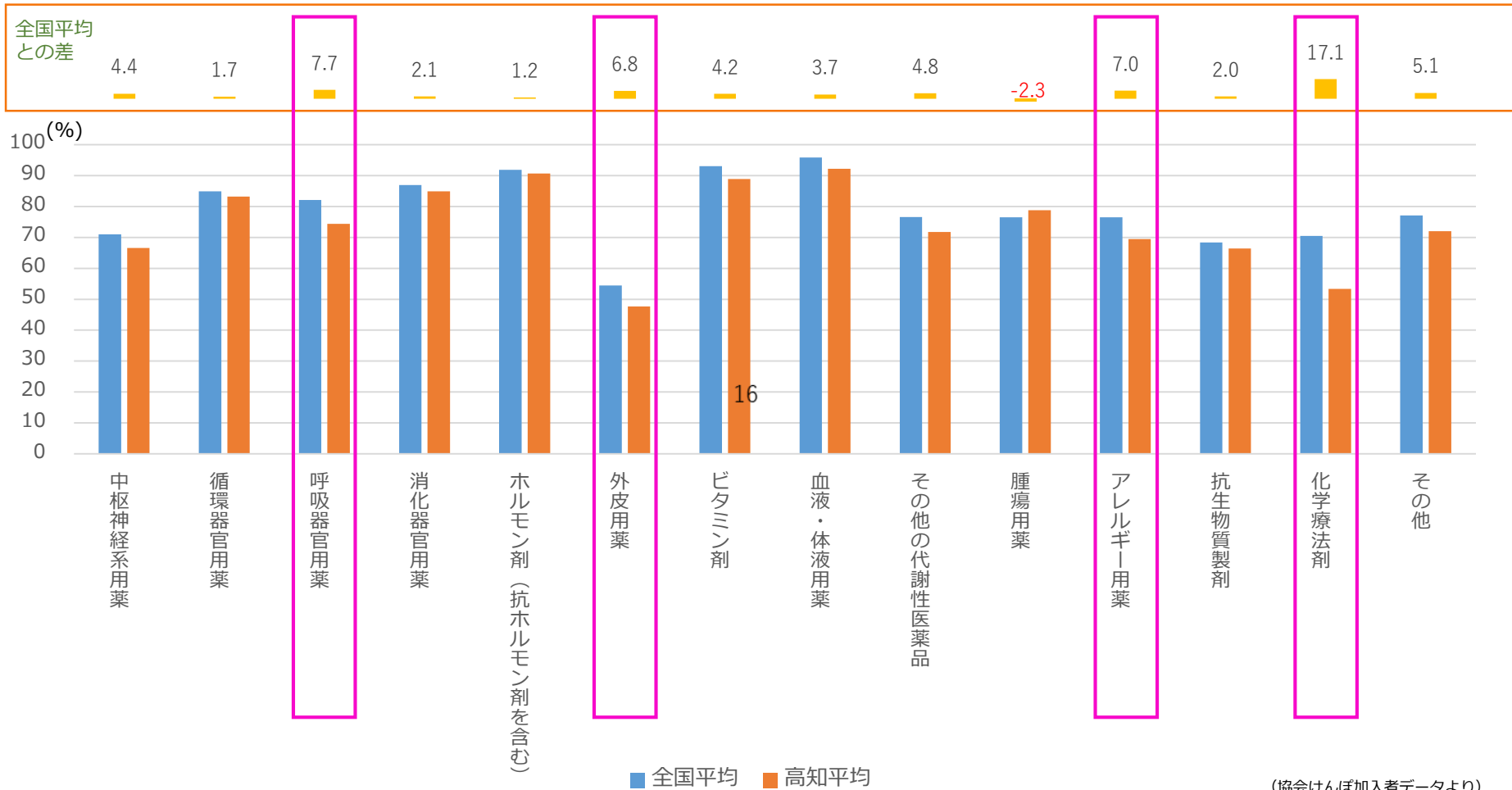


(協会けんぽ加入者データより)

全国と比較して高知支部は、**特に5～19歳の若年層の使用率が低い**傾向があります。医療費の高い都道府県は、保険料率も高くなる仕組みとなっていますので、皆さまにご負担いただいている保険料に影響が出てくる可能性があります。助成制度などで自己負担がない方についても可能な限りご協力をお願いします。

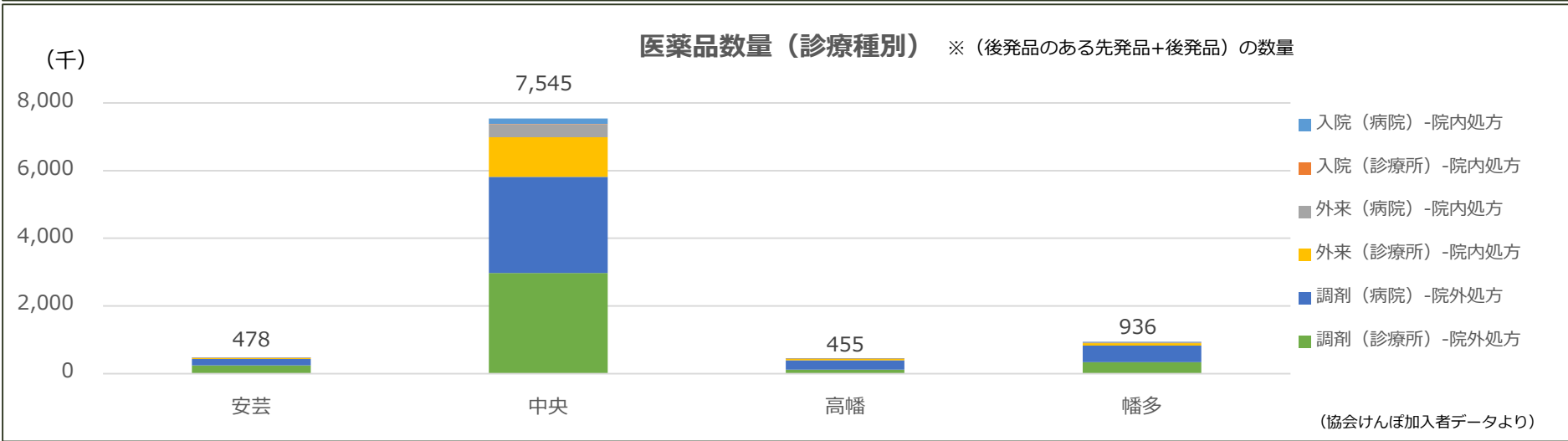
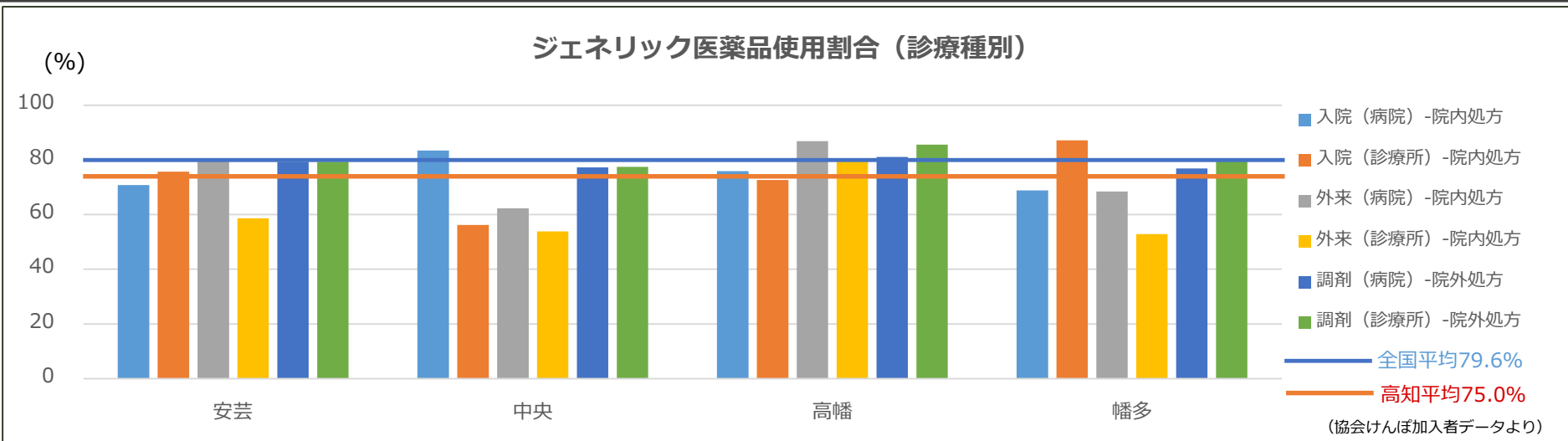
### 3. 薬効分類別ジェネリック医薬品使用割合の全国平均との比較について（数量ベース）

主な薬効分類別 ジェネリック医薬品使用状況（令和2年10月診療分）



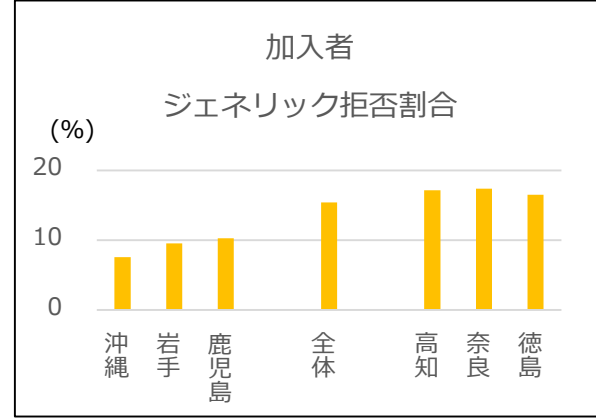
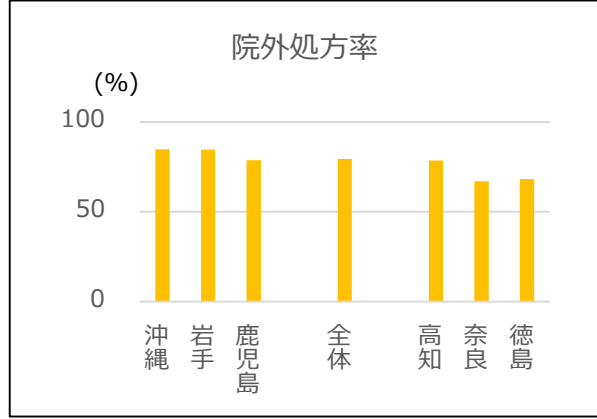
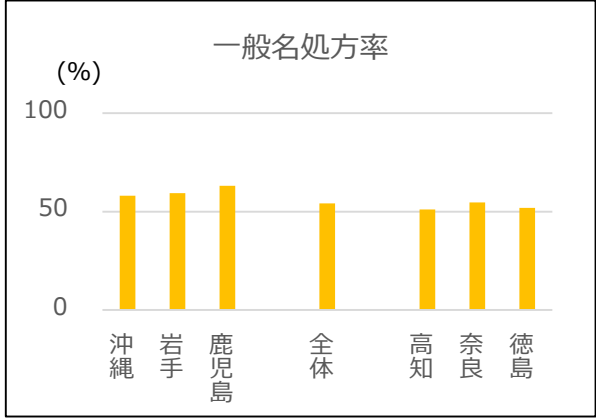
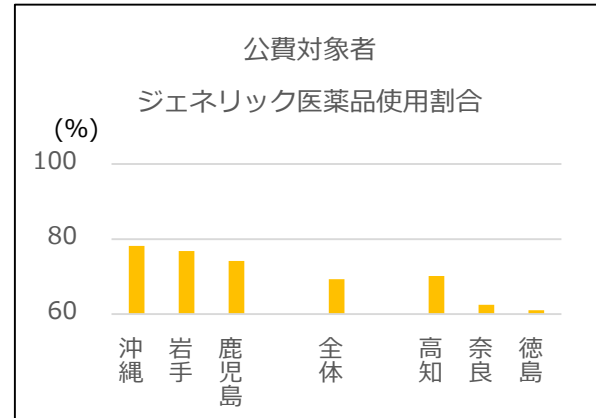
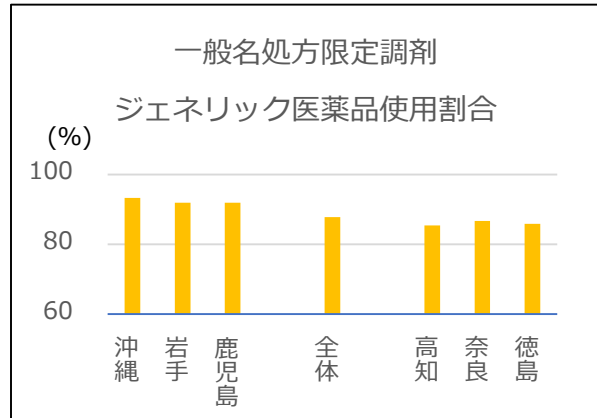
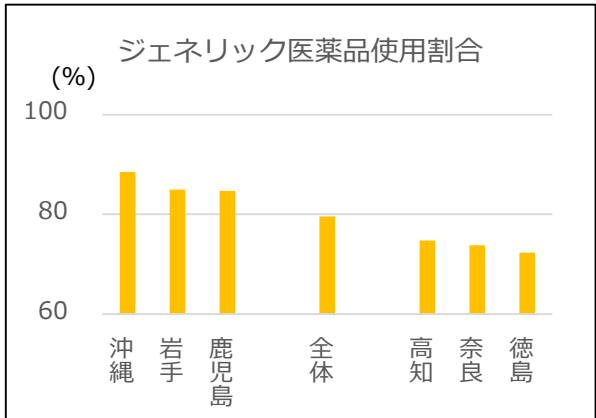
薬効分類別では、全国的に外用薬の使用割合が最も低くなっています。  
 全国の使用割合と比較すると高知支部は、化学療法剤、呼吸器官用薬、アレルギー用品、外用薬の使用率が特に低くなっています。

## 4. 地区（二次医療圏）別のジェネリック医薬品の数量と使用割合について（令和2年10月診療分）



地区別の使用割合では、各地区で診療種別ごとに使用割合に大きな差が見られます。次に医薬品数量で見ると、各地区で調剤薬局（病院）、調剤薬局（診療所）の数量が多く、次に外来（診療所）、外来（病院）の数量が多くなっています。しかしながら、高知県は、中央地区の数量が全体の約8割と大部分を占めており、中央地区の傾向が全体へ大きな影響を及ぼす特徴があります。中央地区では、「外来（診療所）院内処方」、「入院（診療所）院内処方」、「外来（病院）院内処方」の使用割合が平均より特に低くなっています。

# 5. 使用割合が高い支部（3支部）と低い支部（3支部）の比較（令和2年10月診療分）



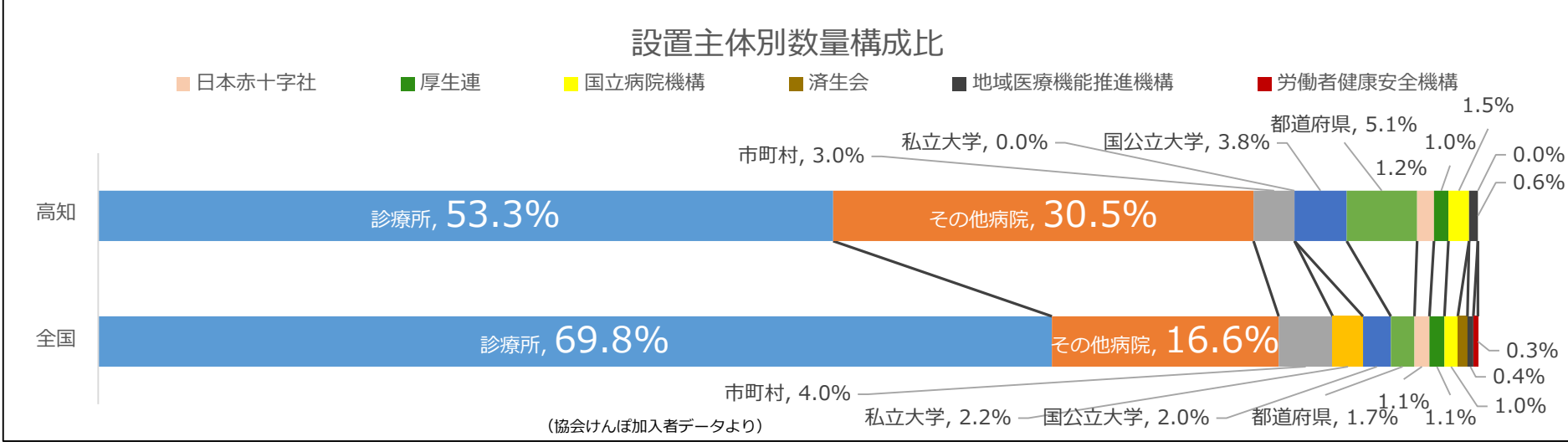
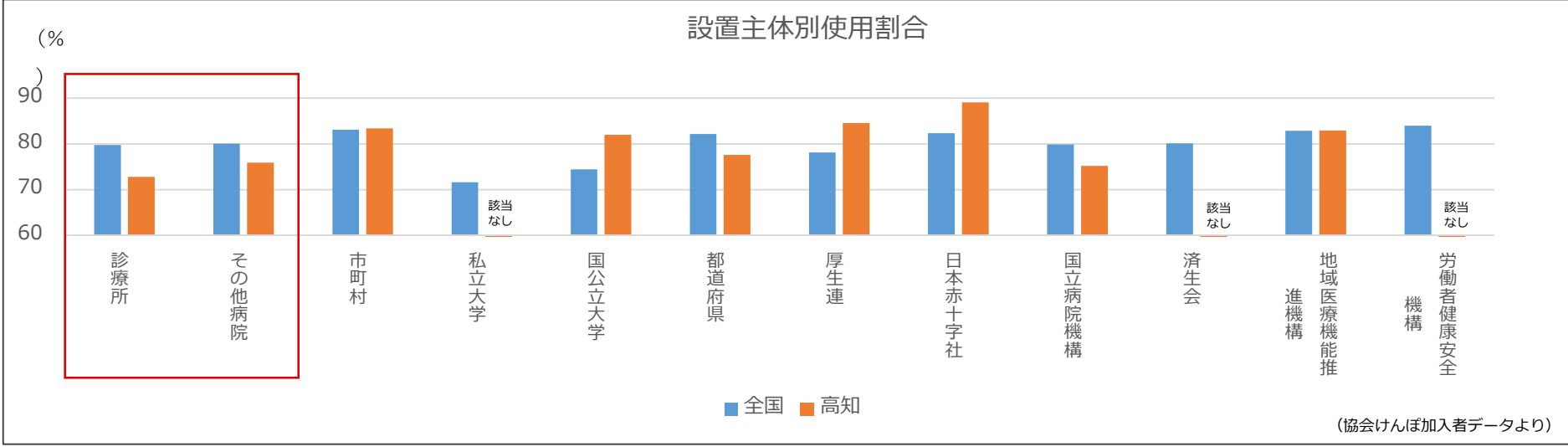
- ・地域別の集計は、医療機関および薬局の所在地に基づく。
- ・実質一般名処方率として、一般名処方加算にヒモ付くレセプト数に基づいて算出している。  
 (一般名処方加算1または2が存在する医科レセプトに、支部、記号、番号、性別、生年月日がヒモ付く調剤レセプトの数) / (調剤レセプトの数)
- ・一般名処方加算1が存在する医科レセプトに、支部、記号、番号、性別、生年月日がヒモ付く調剤レセプトのみを集計対象とする。※歯科レセプトは対象外
- ・(調剤レセプトの加入者の都合で後発品を調剤しなかったコメントレコードのあるレセプト数) / (一般名処方加算が存在する医科レセプトに、支部、記号、番号、性別、生年月日がヒモ付く調剤レセプト数)
- ・国公費の記載のあるレセプトを集計対象とする。(地方単独公費のみのレセプトは集計対象外※子供医療など)

(協会けんぽ加入者データより)

- ①全体的に一般名処方がされている場合は、ジェネリック医薬品の選択率が高くなっています。
- ②全体的に公費対象レセプトの場合は、ジェネリック医薬品の選択率が低くなっています。
- ③使用割合が高い支部と低い支部を比較した場合、使用割合が低い支部は、院外処方率が低く、患者拒否割合が高い傾向があります。



# 6. 設置主体別の使用割合と構成比（令和2年10月診療分）



高知支部は、設置主体が「国公立大学」「厚生連」「日本赤十字社」では、使用割合が全国平均を上回っていますが、全体の8割以上の数量を占める「診療所」と「その他病院」が全国平均を下回っているため、全体としての使用割合も低くなっていることがわかります。したがって、大病院よりも個人病院の影響力が大きいと言えます。

# 7. ジェネリック医薬品軽減額通知の送付事業について

ジェネリック医薬品軽減額通知 年度別効果実績一覧

【軽減通知イメージ】

### ジェネリック医薬品を使ってみませんか？

あなたに処方されたお薬をジェネリック医薬品に変更した際の軽減額を裏面に記載しています。

＜裏面のお知らせの見方＞

**見本**

ジェネリック医薬品をお使いいただく  
あなたのお薬代を減らすことができます

1 平成31年 4月に処方されたお薬のうち、  
以下の医薬品をジェネリック医薬品に変更した場合

2 薬剤の軽減可能額  
5,350円

薬剤名	原薬名	原薬代	ジェネリック代	軽減額
00000010 10mg	00000010 10mg	5,690	2,710	2,980
00000000 (0.1%)	00000000 (0.1%)	1,850	1,130	720
00000000 100mg	00000000 100mg	870	260	610
00000000 40mg	00000000 40mg	2,490	820	1,670
00000000 7cm x 10cm	00000000 7cm x 10cm	1,230	430	800
<b>合計</b>		<b>12,130</b>	<b>5,350</b>	<b>6,780</b>

3 お薬名  
軽減できるお薬代が高いものを最大で種類記載しています。

4 お薬代  
ジェネリック医薬品に変更する前の1か月のお薬代です。お薬代のみを記載していますので、お支払いになった金額とは異なります。

5 注意事項

Q. 具体的なジェネリック医薬品の名前が書いていないのはなぜ？

A. 1つの先発医薬品に対し、複数のジェネリック医薬品が存在する場合があります。この「お知らせ」には具体的なジェネリック医薬品名を記載していません。具体的なお薬については、かかりつけの医療機関または薬局までご相談ください。

全国健康保険協会 協会けんぽ

【同封リーフレットイメージ】

1 はじめてのジェネリック

2 お薬代が、どうも少なくなった？

3 どうしてお薬代が少なくなったのか？

4 生活習慣病や慢性疾患の先発薬を長期服用されている方へ

5 ジェネリック医薬品への切り替えを案内する「ジェネリック医薬品軽減通知」を送付しております。

協会けんぽ **高知支部** の合計

	一回目通知				二回目通知			
	通知件数	切替者数	切替率	軽減額/月(円)	通知件数	切替者数	切替率	軽減額/月(円)
平成21年度	11,264	2,874	25.5%	4,689,378				
平成22年度	4,746	946	19.9%	1,192,618				
平成23年度	6,713	1,540	22.9%	2,132,936	0	0	0.0%	0
平成24年度	7,392	1,664	22.5%	2,135,833	2,108	467	22.2%	589,198
平成25年度	10,781	2,376	22.0%	3,500,314	4,077	1,091	26.8%	2,114,437
平成26年度	12,405	3,072	24.8%	4,983,866	12,621	2,846	22.5%	4,313,831
平成27年度	13,032	3,306	25.4%	5,081,247	14,552	3,840	26.4%	5,874,640
平成28年度	22,402	5,371	24.0%	8,698,168	21,612	4,956	22.9%	7,315,993
平成29年度	25,676	6,469	25.2%	10,946,020	24,318	7,341	30.2%	13,303,434
平成30年度	26,151	6,369	24.4%	9,561,003	21,607	5,457	25.3%	8,914,090
令和元年度	26,268	6,755	25.7%	9,569,685	21,103	5,215	24.7%	8,745,110
<b>累計</b>	<b>288,828</b>	<b>71,955</b>	<b>24.9%</b>	<b>1,363,941,599</b>				

→ **約13.6億円の軽減効果**

協会けんぽ **全支部** の合計

	一回目通知				二回目通知			
	通知件数	切替者数	切替率	軽減額/月(円)	通知件数	切替者数	切替率	軽減額/月(円)
平成21年度	1,452,132	380,301	26.2%	579,931,590				
平成22年度	549,570	118,287	21.5%	144,627,555				
平成23年度	843,704	196,588	23.3%	250,673,658	210,987	53,639	25.4%	77,866,831
平成24年度	968,426	243,394	25.1%	314,098,285	270,138	67,268	24.9%	88,979,433
平成25年度	1,347,831	323,936	24.0%	446,736,560	500,090	144,820	29.0%	252,125,791
平成26年度	1,656,764	464,207	28.0%	702,724,872	1,638,884	421,126	25.7%	611,618,980
平成27年度	1,806,296	506,796	28.1%	726,310,734	1,939,597	562,889	29.0%	843,769,158
平成28年度	3,071,331	777,828	25.3%	1,132,698,686	3,028,142	764,723	25.3%	1,117,094,152
平成29年度	3,579,162	981,835	27.4%	1,558,269,035	3,455,431	1,166,948	33.8%	2,072,603,571
平成30年度	3,714,412	1,008,670	27.2%	1,456,751,119	2,982,936	849,325	28.5%	1,291,867,049
令和元年度	3,565,539	1,009,589	28.3%	1,313,169,513	3,000,668	809,136	27.0%	1,276,904,517
<b>累計</b>	<b>39,582,040</b>	<b>10,851,305</b>	<b>27.4%</b>	<b>195,105,853,072</b>				

→ **約1,951億円の軽減効果**

○平成21年度から令和元年度2回目通知までの累計(人数はのべ人数) (協会けんぽ加入者データより)

○軽減額/年: 軽減額(月) × 12ヶ月(単純推計)

協会けんぽでは、毎年2回(2月、8月)、ジェネリック医薬品に切り替えることで薬代の軽減額が一定以上見込まれる方、及び生活習慣病(高血圧症、糖尿病、高脂血症等)や慢性疾患(喘息、リウマチ等)などの先発医薬品を長期間服用されている方へ、ジェネリック医薬品への切り替えを案内する「ジェネリック医薬品軽減通知」を送付しており、これまでの軽減効果額は、上記表のとおりとなっています。

## 8. 医薬品別軽減可能額一覧【上位30品目】（協会けんぽ 令和2年10月診療分レセプトより）

項番	医薬品コード	商品名	剤形区分	医薬品区分	医療機関数	数量	薬剤費	軽減可能最小額	軽減可能最大額
1	620009048	ヒルドイドソフト軟膏0.3%	外用	0.先発	35,863	26,972,054	582,596,361	385,700,369	461,222,119
2	620009049	ヒルドイドローション0.3%	外用	0.先発	32,940	26,326,460	568,651,538	376,468,379	450,182,467
3	622538301	リリカOD錠75mg	内服	0.先発	24,319	5,160,151	561,424,464	374,110,971	374,110,971
4	620002511	グリバック錠100mg	内服	0.先発	674	158,299	350,219,601	222,314,413	293,928,655
5	613990096	プログラフカプセル1mg	内服	0.先発	3,958	873,708	541,349,229	235,376,827	286,488,722
6	621950801	シムピコートタービュヘイラー60吸入	外用	0.先発	22,979	106,460	452,666,971	225,279,534	225,279,534
7	622538201	リリカOD錠25mg	内服	0.先発	21,441	5,111,119	333,244,946	221,822,556	221,822,556
8	620004355	バラクルード錠0.5mg	内服	0.先発	2,921	288,845	228,331,973	154,647,613	179,372,745
9	610432045	セルセプトカプセル250 250mg	内服	0.先発	3,700	1,467,866	319,701,167	179,079,625	179,079,625
10	620002492	トラクリア錠62.5mg	内服	0.先発	491	61,863	238,848,664	163,418,537	173,366,183
11	622484401	モンテルカスト錠10mg「KM」	内服	1.後発	19,741	3,932,769	282,766,077	-	168,322,505
12	620007804	モーラステープL40mg 10cm×14cm	外用	0.先発	40,591	8,704,222	303,777,348	154,935,152	154,935,152
13	620004641	アルツディスボ関節注25mg 1% 2.5mL	注射	0.先発	8,845	238,450	230,819,987	134,009,125	154,515,859
14	620004868	ゼチーア錠10mg	内服	0.先発	14,967	1,308,450	226,623,497	144,060,317	144,060,317
15	622042602	エディロールカプセル0.75μg	内服	0.先発	18,689	2,026,344	198,986,932	127,457,006	127,457,006
16	621932301	エルプラット点滴静注液100mg 20mL	注射	0.先発	544	3,833	148,326,951	67,675,729	109,864,291
17	621983801	リリカカプセル75mg	内服	0.先発	11,494	1,481,096	161,143,271	107,379,477	107,379,477
18	613130595	メチコパール錠500μg 0.5mg	内服	1.後発	31,450	11,574,909	170,151,162	-	104,174,181
19	622545101	ジエノゲスト錠1mg「モチダ」	内服	1.後発	6,186	2,174,522	277,251,555	-	102,202,534
20	620007813	ロキソニンテープ100mg 10cm×14cm	外用	0.先発	34,634	7,103,930	221,642,600	95,192,655	100,165,406
21	620004857	セレコックス錠100mg	内服	0.先発	14,084	1,982,399	136,785,497	97,930,486	97,930,486
22	620002477	クレストール錠2.5mg	内服	0.先発	18,213	2,360,017	124,608,871	80,240,561	97,704,683
23	622036701	ザイザル錠5mg	内服	0.先発	20,681	1,943,506	160,339,237	96,203,542	96,203,542
24	620009046	ヒルドイドクリーム0.3%	外用	0.先発	11,749	5,517,201	119,171,543	78,895,975	94,344,138
25	620006886	キプレスチュアブル錠5mg	内服	0.先発	7,201	759,434	118,623,591	81,942,929	94,245,759
26	610443040	アレグラ錠60mg	内服	0.先発	18,305	2,480,377	130,219,768	61,017,263	92,270,007
27	610412202	バリエット錠10mg	内服	0.先発	12,931	1,208,237	104,029,163	48,087,813	86,751,381
28	622452901	オルメテックOD錠20mg	内服	0.先発	9,499	1,021,590	97,561,821	62,929,929	75,495,483
29	610443014	リビトール錠10mg	内服	0.先発	12,908	1,207,874	97,958,602	43,362,686	74,525,841
30	621969902	アサコール錠400mg	内服	0.先発	3,920	2,187,772	141,767,626	73,509,139	73,509,139

注1  
評価対象データは、令和2年10月診療分の医科外来レセプト、医科入院（DPCの包括評価対象部分除く）、調剤レセプトを対象とする。

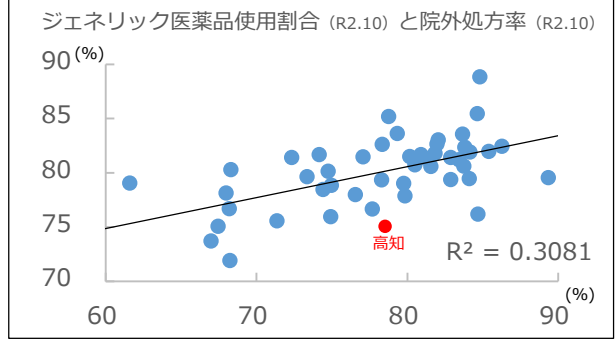
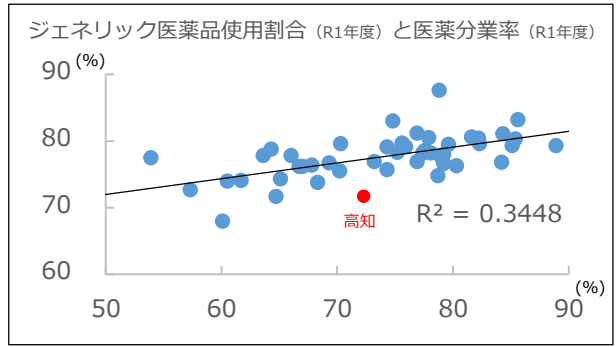
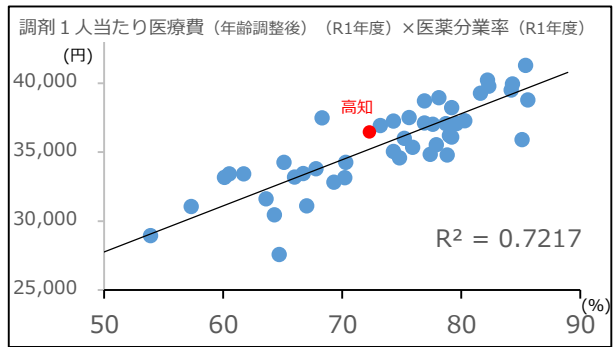
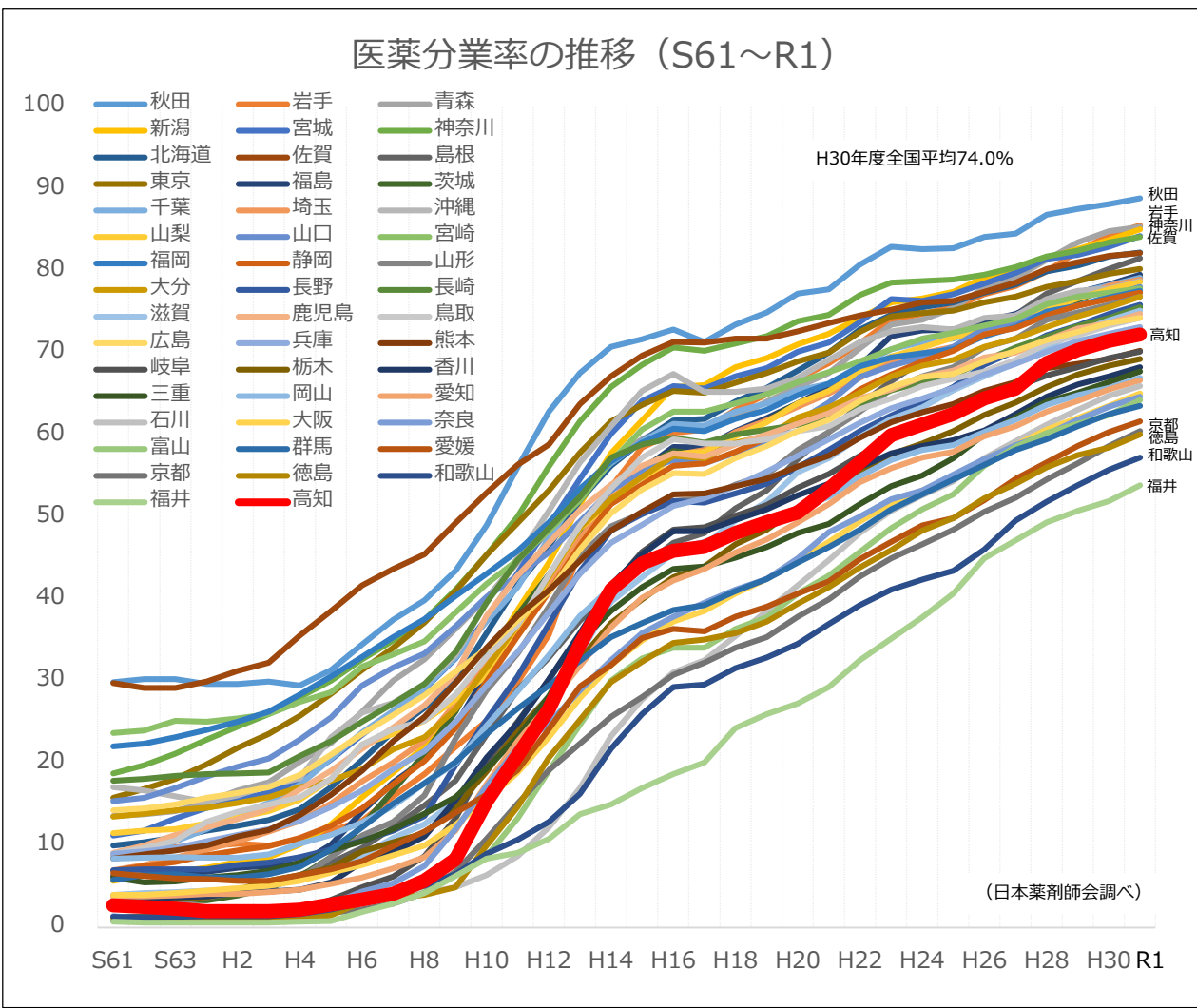
注2  
医療機関数は、処方実績がある保険医療機関数と保険薬局数の合計とする。

注3  
軽減可能最大額は最安値の後発品より算出し、軽減可能最小額は最高値の後発品より算出する。ただし、後発品の軽減可能最小額は0とする。

（協会けんぽ加入者データより）

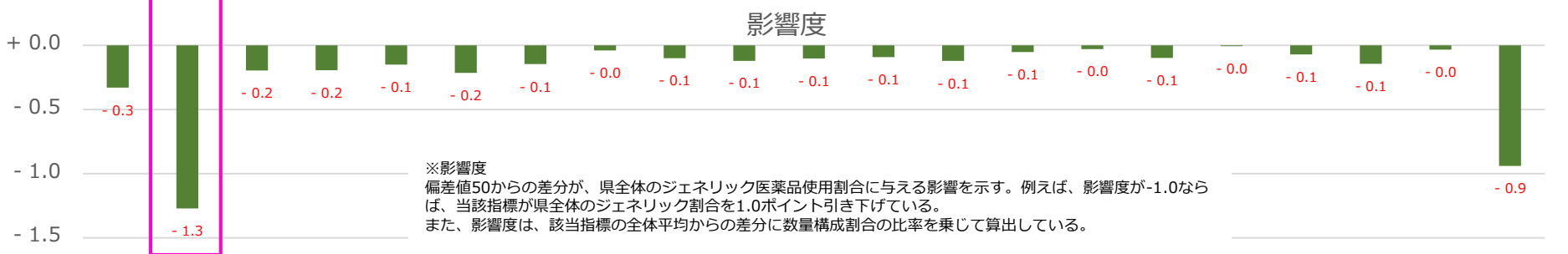
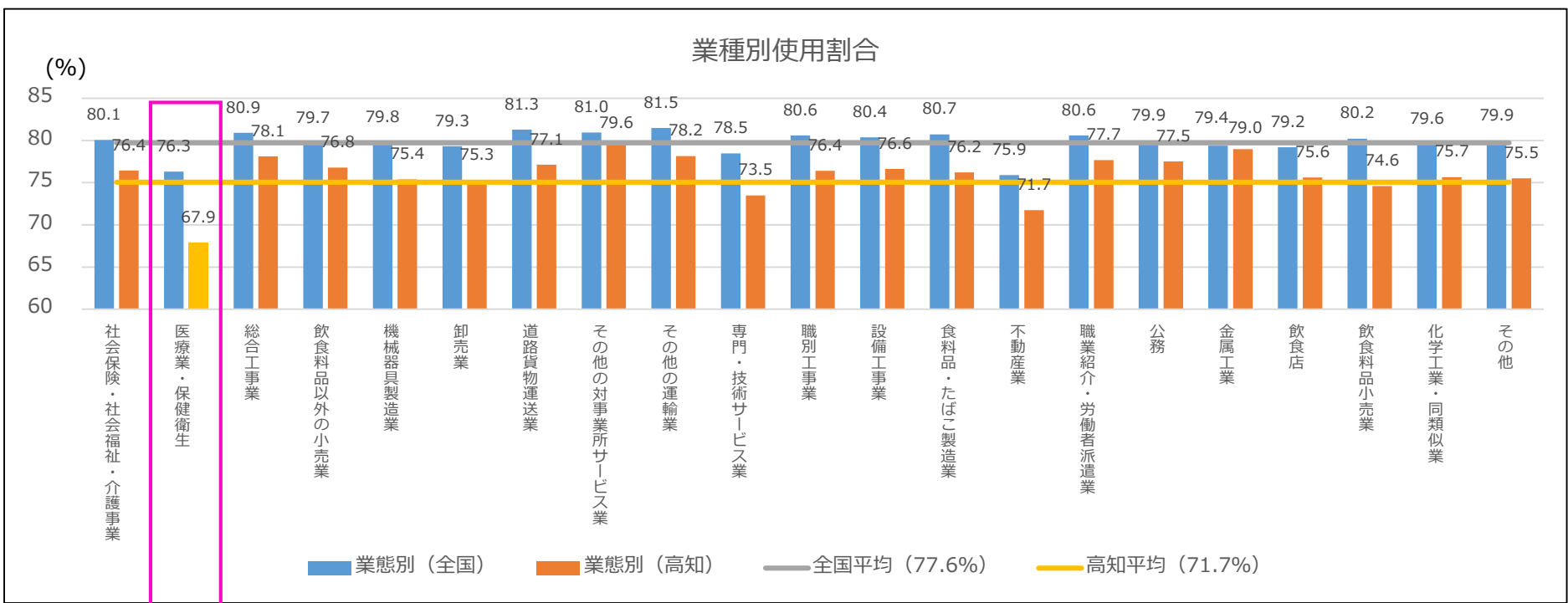
全体18,851品目の軽減可能額の合計は、**約107億円/月（最小）～ 約153億円/月（最大）**。  
うち、上位30品目の軽減可能額の合計は、**約41億円/月（最小）～ 50億円/月（最大）** 全体の約1/3。

# 9. 医薬分業率について（協会けんぽ加入者データ及び日本薬剤師会HPデータより）



- ① 医薬分業率と調剤薬局での一人当たり医療費は、かなり強い正の相関がある。
- ② 医薬分業率とジェネリック医薬品使用割合は、弱い正の相関がある。
- ③ ジェネリック医薬品使用割合と院外処方率は、弱い正の相関がある。

# 10. ジェネリック医薬品の業種別使用割合について（令和2年10月診療分）



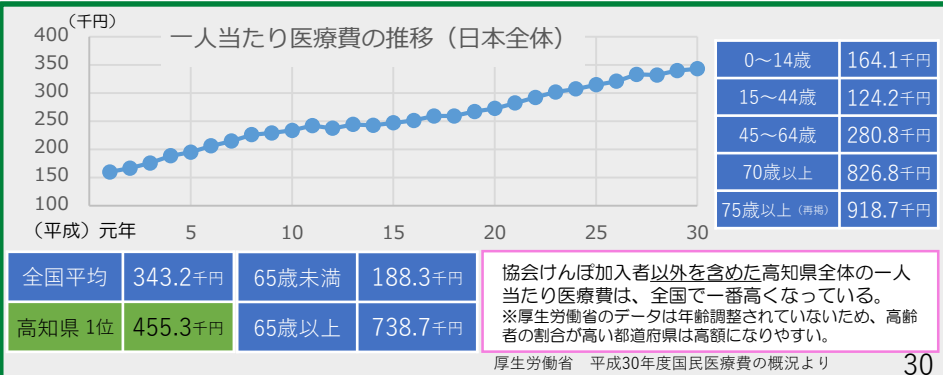
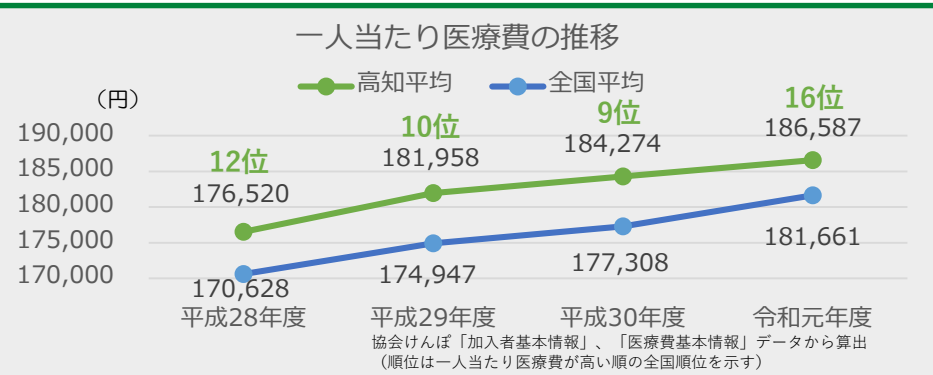
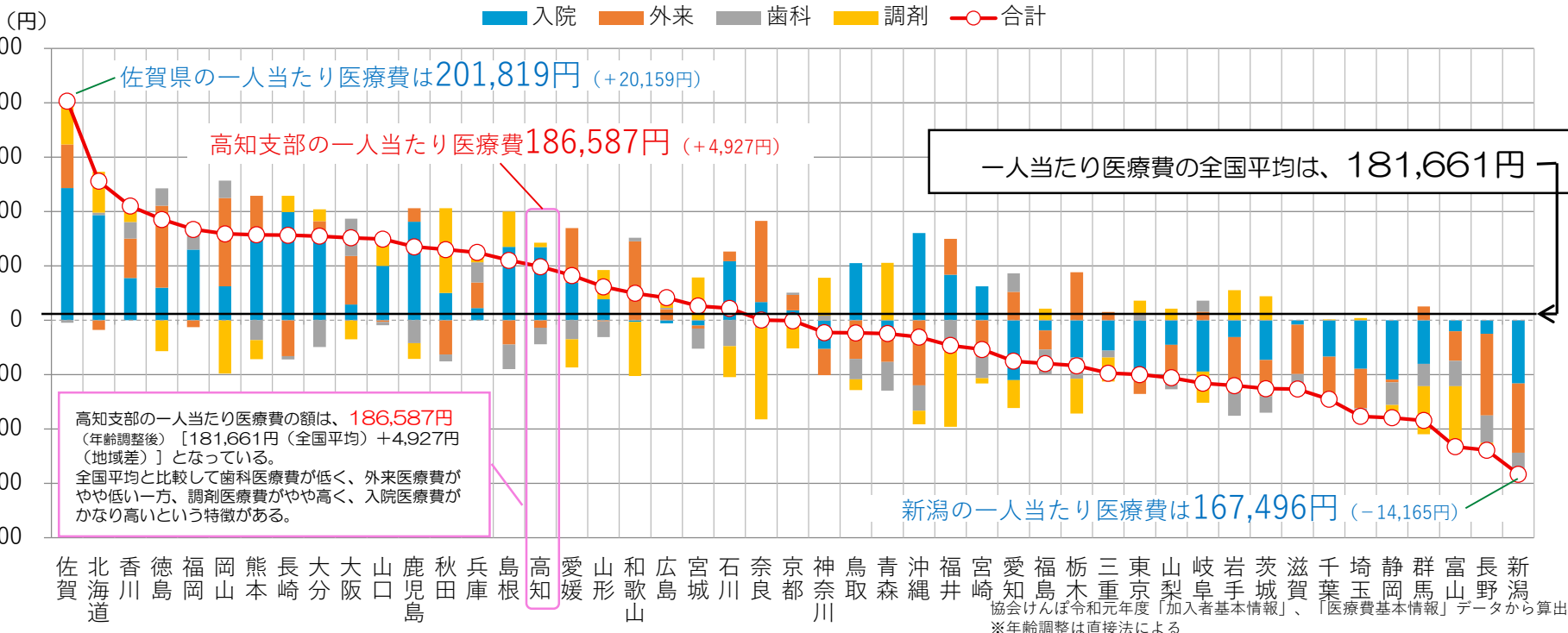
（協会けんぽ加入者データより）

業種別使用割合を比較すると「医療業・保健衛生」のジェネリック医薬品使用割合が低いが、高知県は特に低い傾向があり、全体への影響度も大きい。

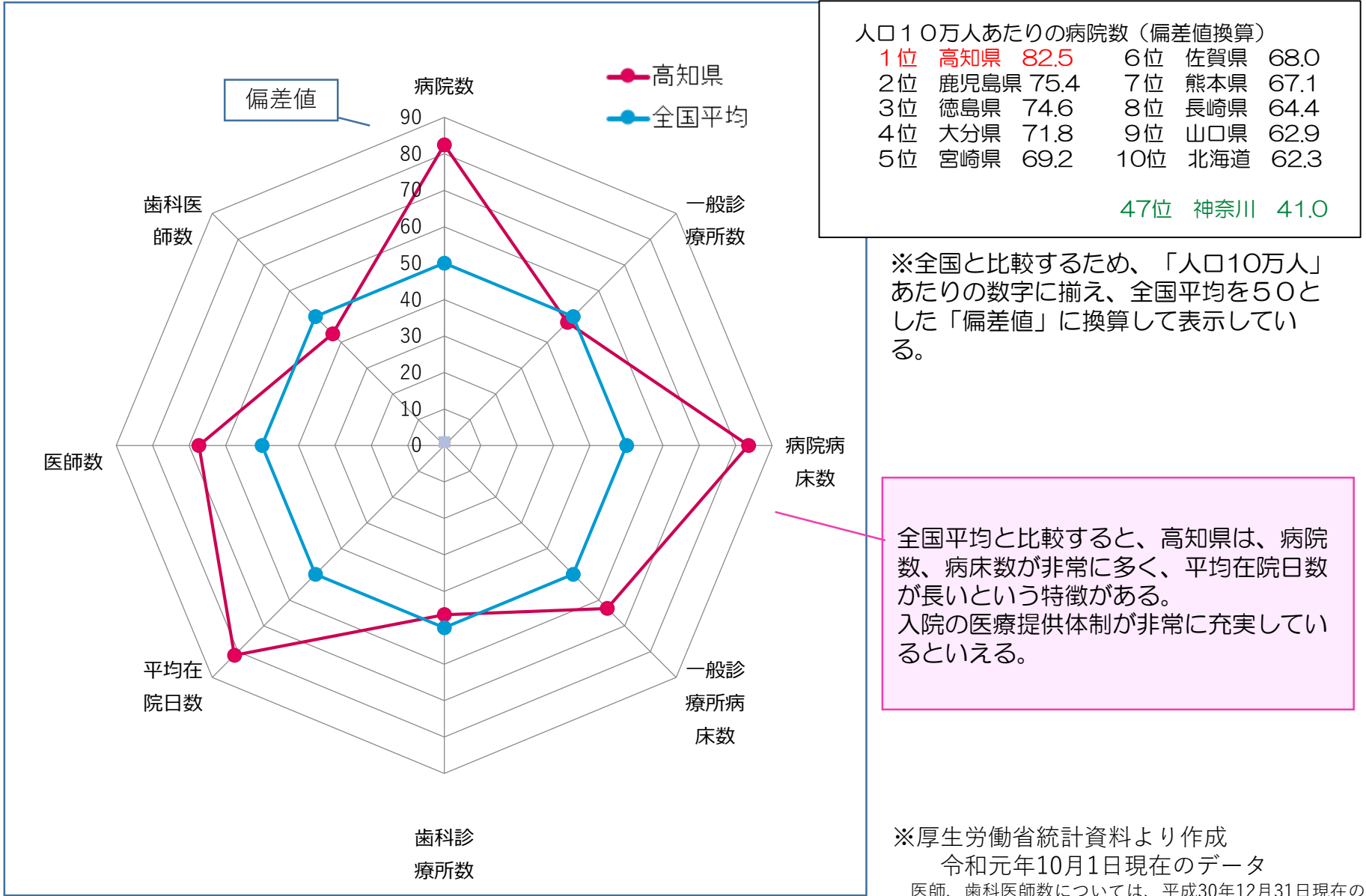
## **令和元年度高知支部の医療費等について**

# 1. 全国平均と比較した高知支部一人あたりの医療費（年齢調整後）

医療費は、年齢が上がると高額になる傾向があるため、単純に一人当たり医療費を算出すると、高齢者割合が高い県ほど医療費も高くなります。そのため、一人当たり医療費を比較する際は、「年齢調整」という計算を行い、年齢階級別人数構成割合による差をなくしたうえで、地域差による医療費の違いを算出しています。

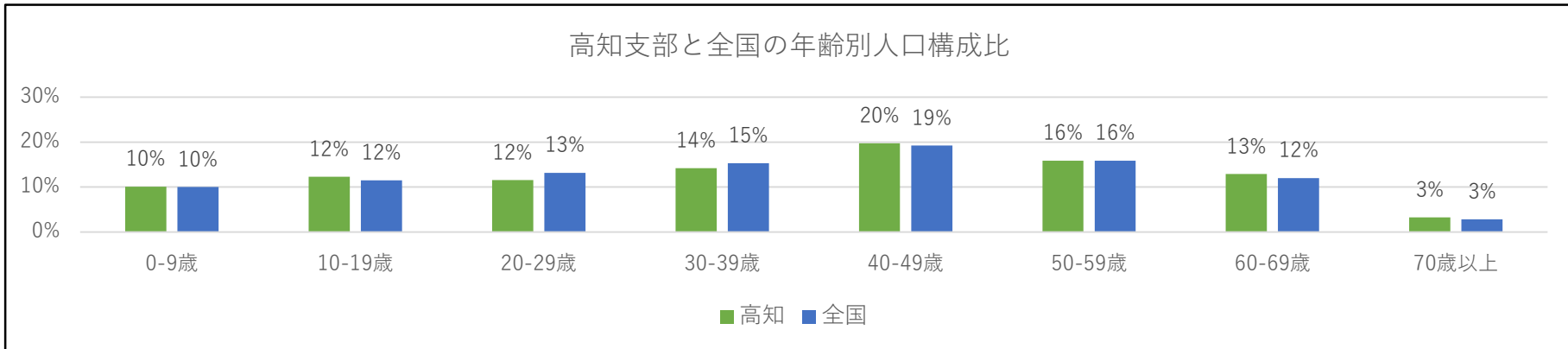
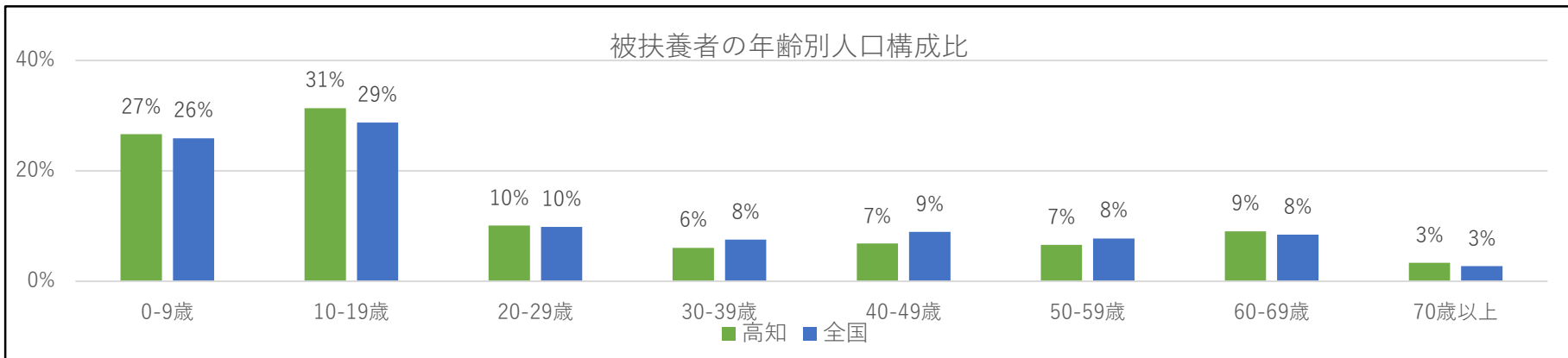
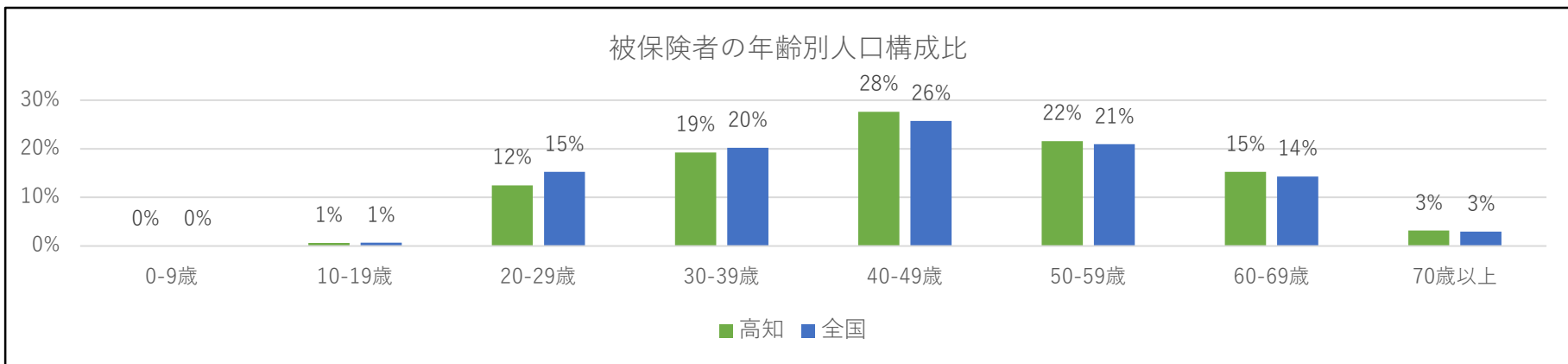


## 2. 全国平均と比較した高知県の医療提供体制





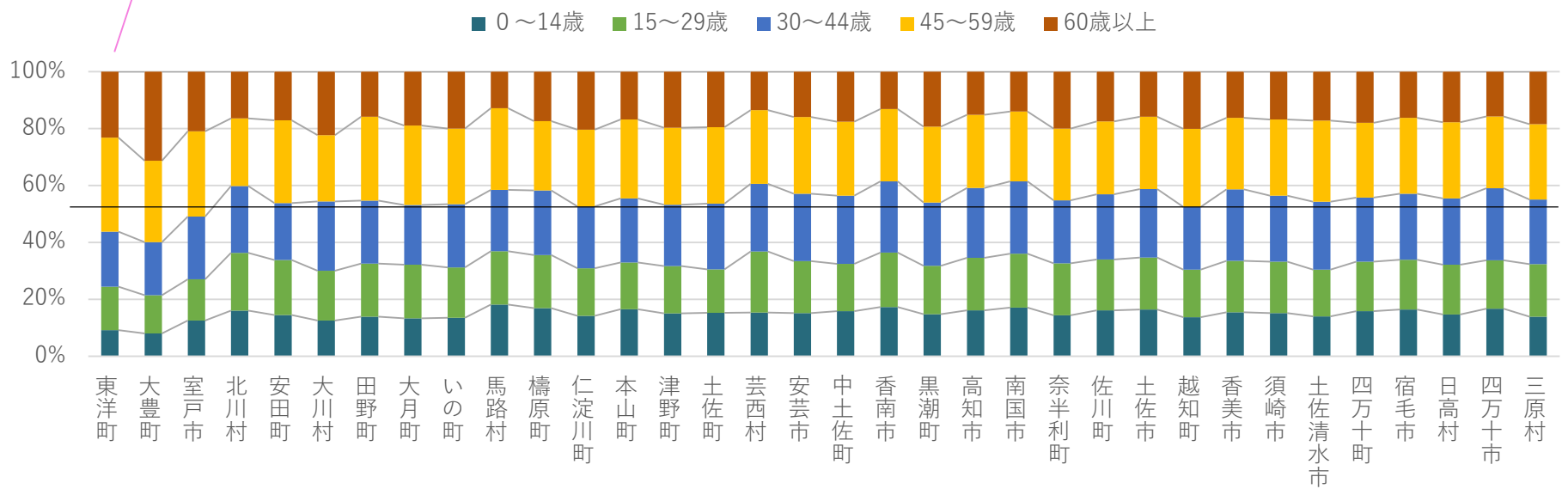
### 3. 全国平均と比較した高知支部の年齢別人口構成比



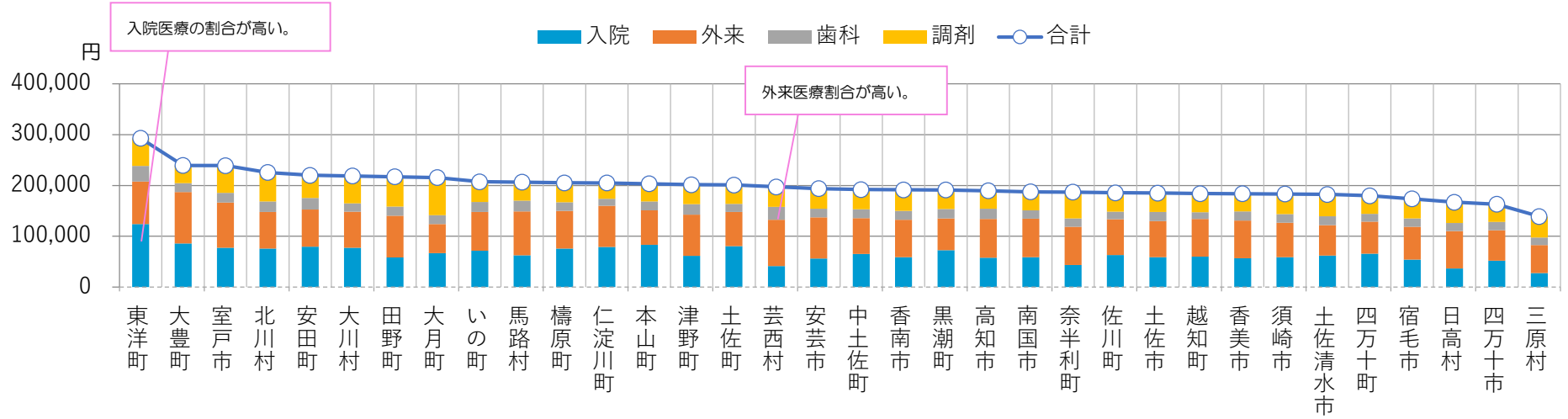
# 4. 高知支部の市町村別一人当たり医療費と年齢構成比の比較

大豊町、東洋町は、年齢構成が高めであるため、医療費も高額になりやすい傾向がある。

### 市町村別年齢構成比



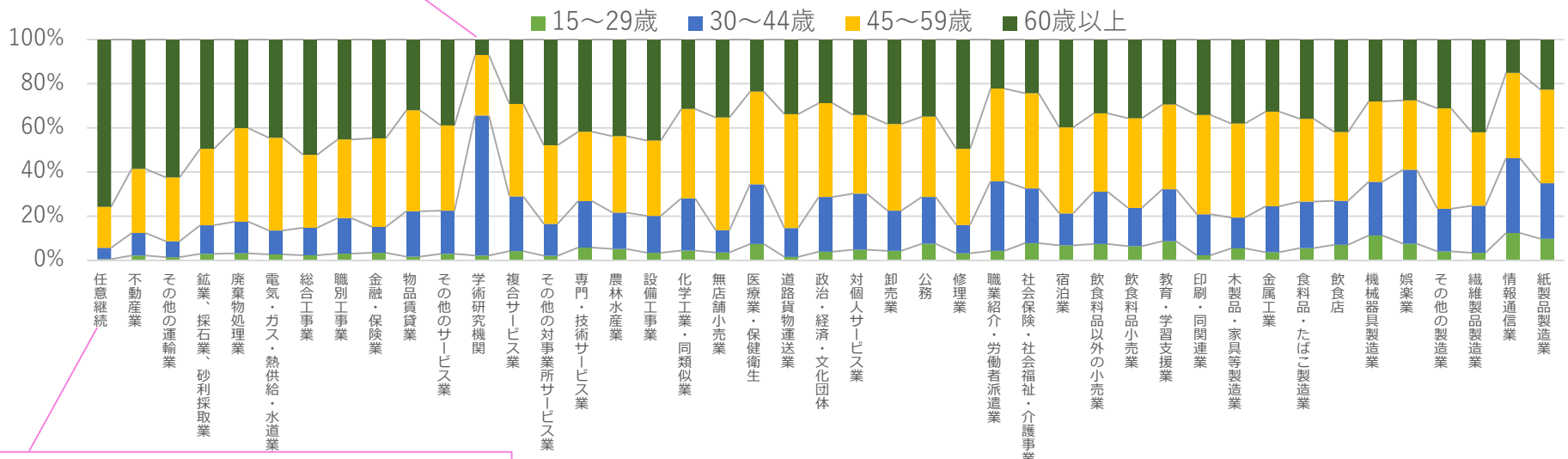
### 市町村別の一人当たり医療費 (年齢調整なし)



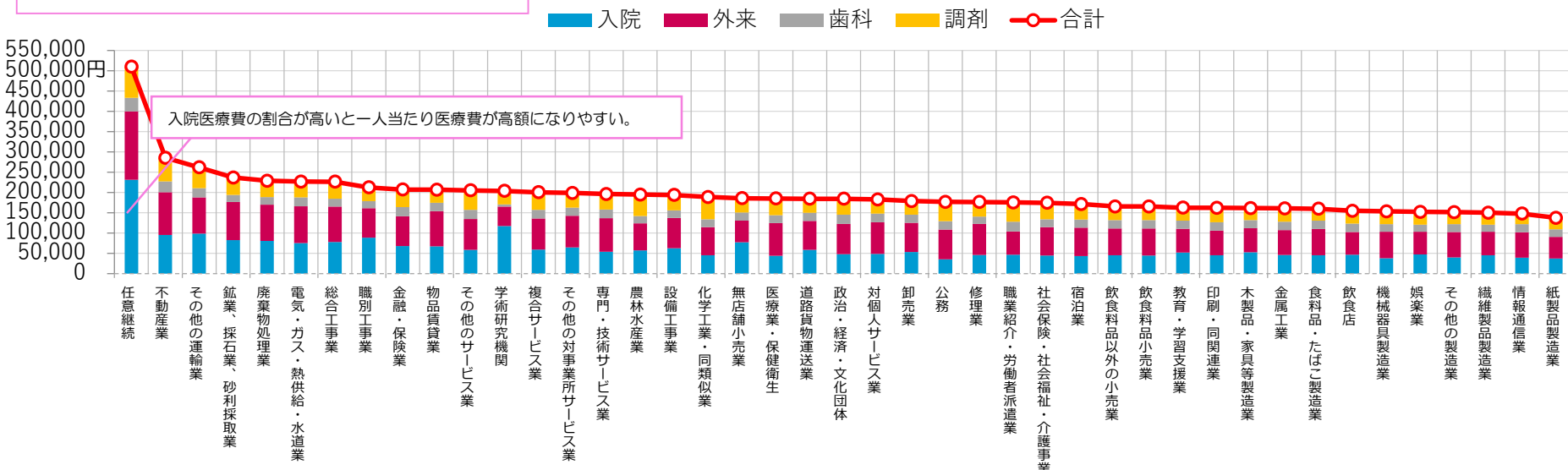
協会けんぽ令和元年度「居住地別加入者基本情報、居住地受診別医療費基本情報」データから高知県以外の居住者を除いて算出

# 5. 高知支部の業態別医療費と年齢構成比の比較（被扶養者データは対象外としている）

## 高知支部の業態別年齢構成比

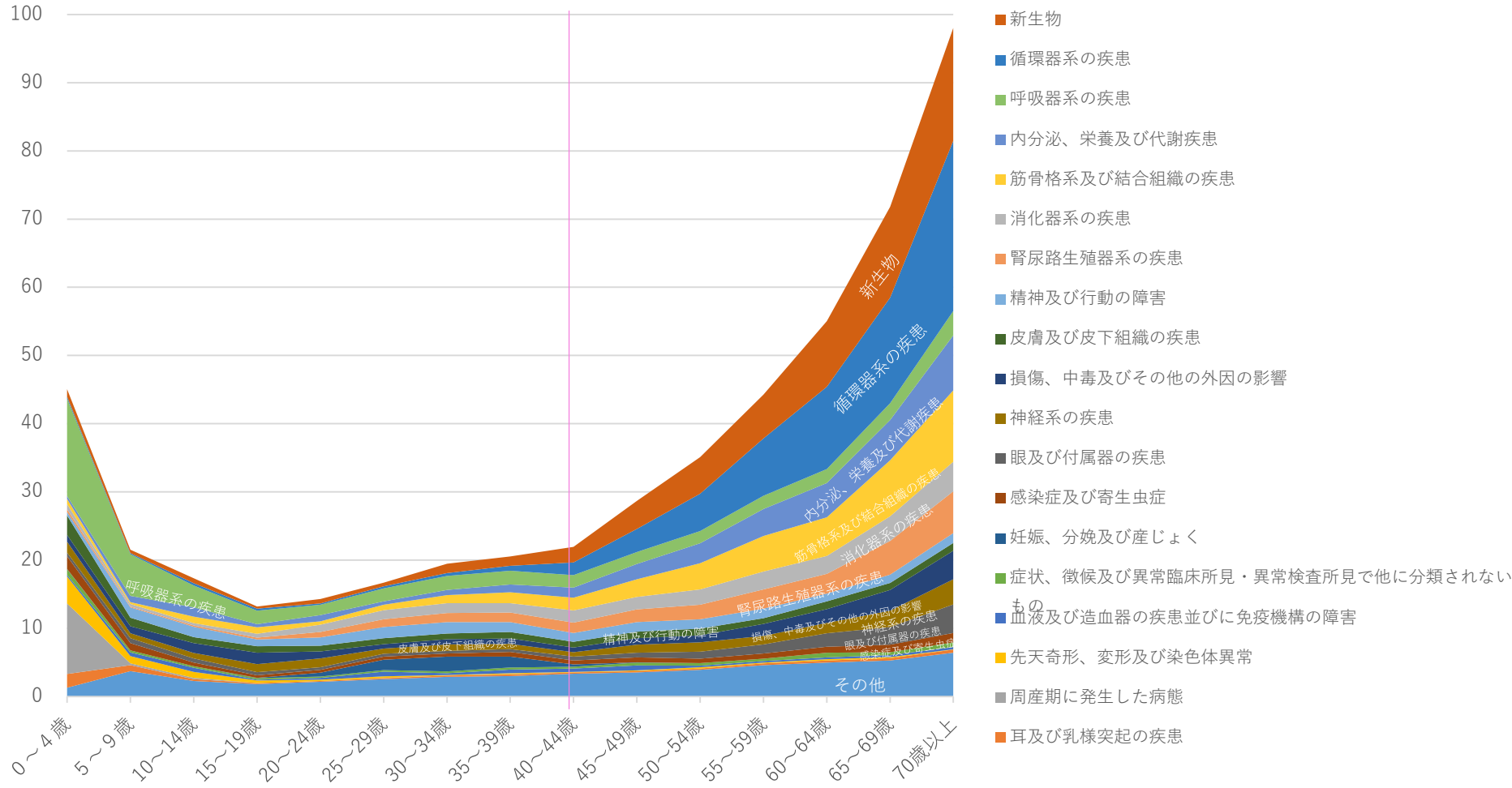


## 高知支部の業態別一人当たり医療費



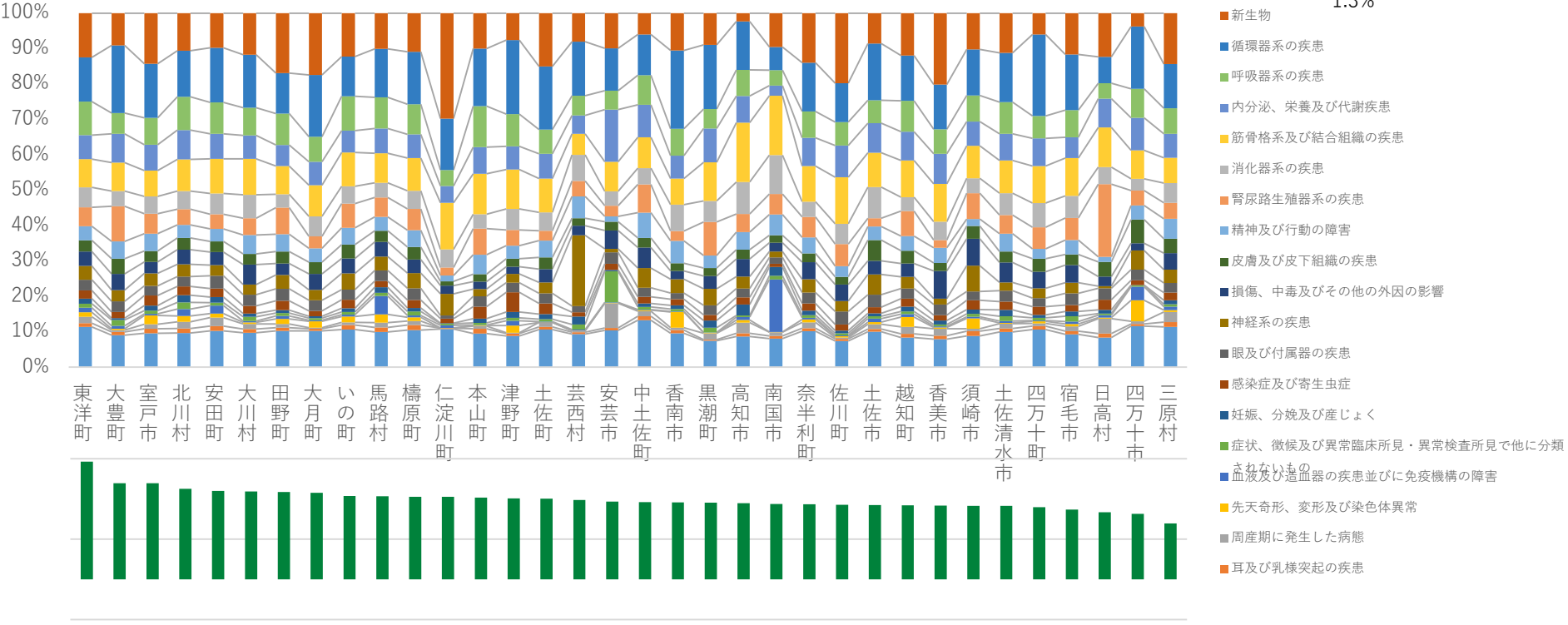
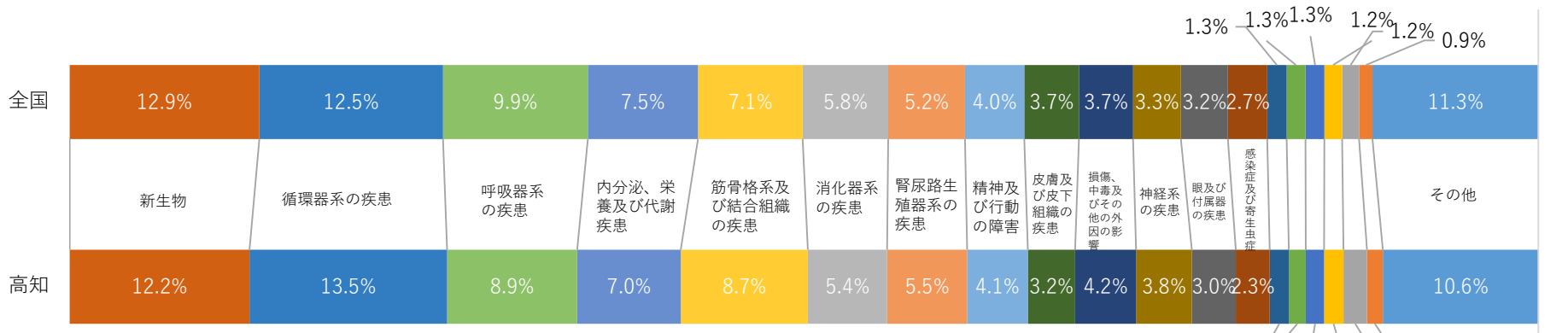
# 6. 高知支部の疾病分類別の年齢構成別医療費

(億円/年) ※グラフは、各年齢構成ごとの加入者数の差を調整した額で算出しているため、実際の医療費とは異なる。 高知支部年間総医療費：約484億円



40歳以降は、医療費の増加が顕著になっている。特に「新生物（がん等）」、「循環器系の疾患」、「内分泌・栄養及び代謝疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費の割合が増加している。

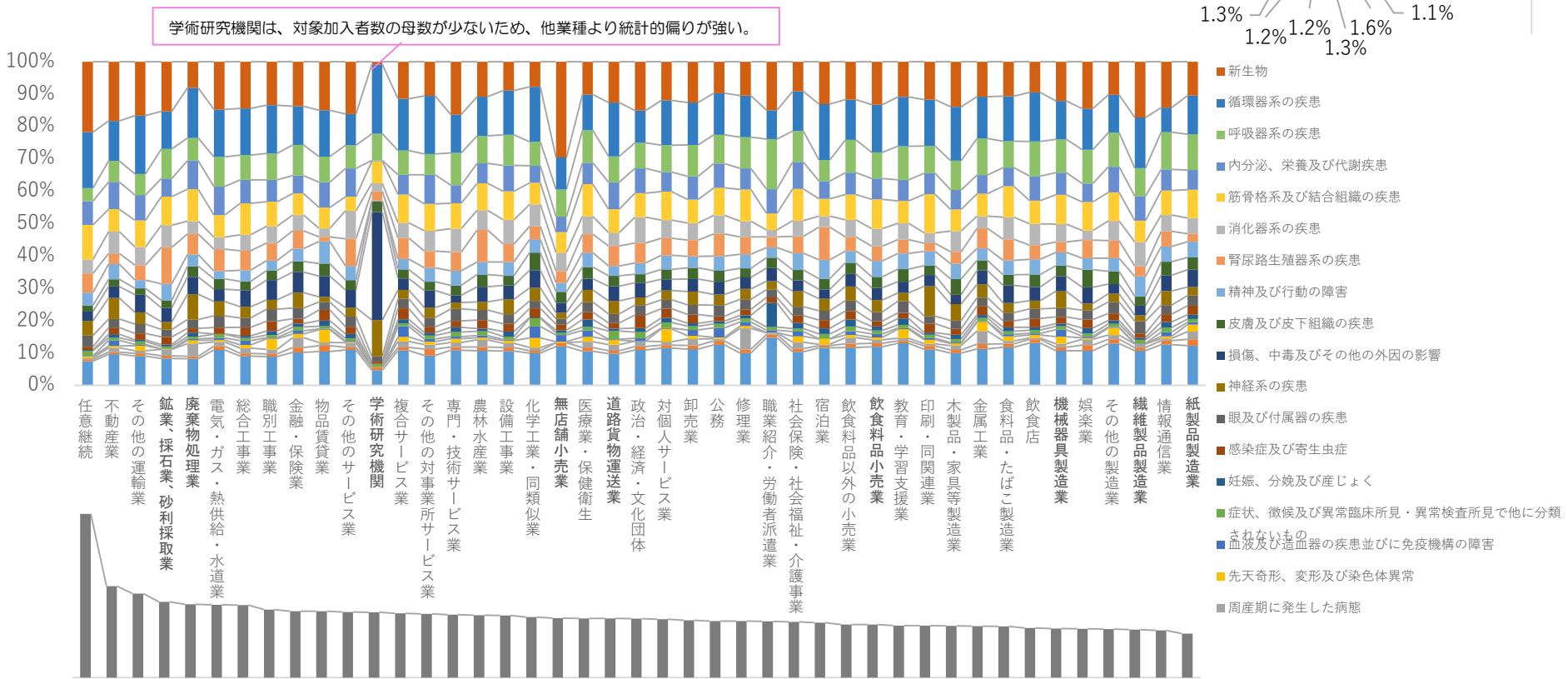
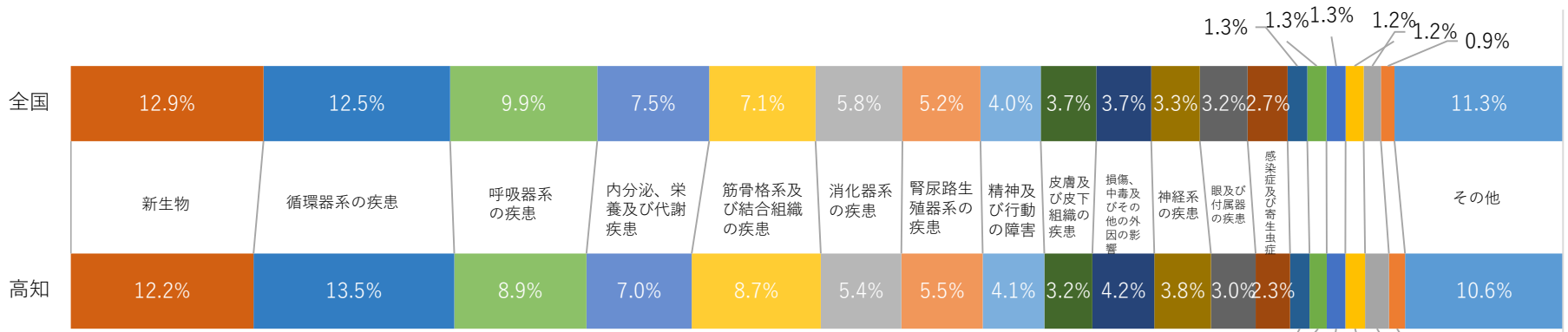
# 7. 高知支部の市町村別疾病分類別の割合



市町村別の一人当たり医療費

協会けんぽ令和元年度「居住地受診地別加入者基本情報、医療費基本情報」データから高知県以外の居住者を除いて算出  
※全国平均は全体の「加入者基本情報、医療費基本情報」から算出

# 8. 高知支部の業態別医療費と疾病分類の割合



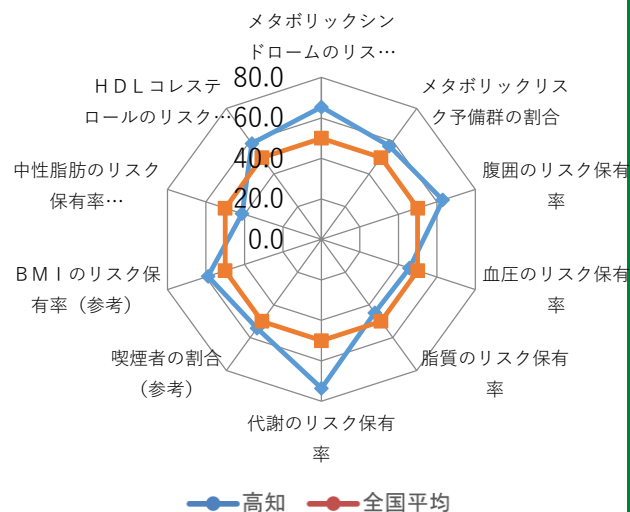
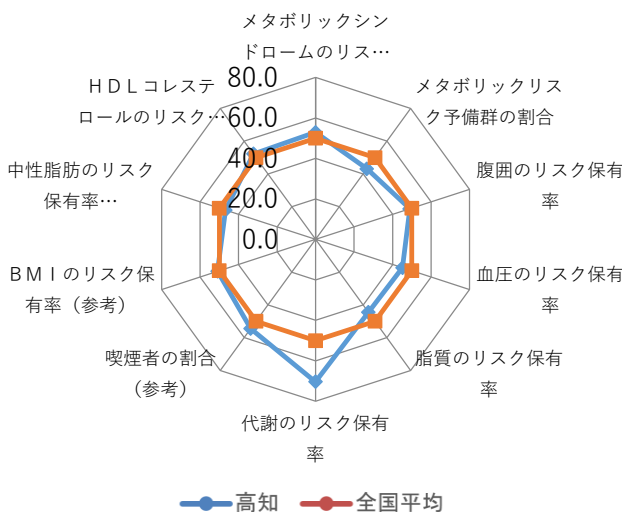
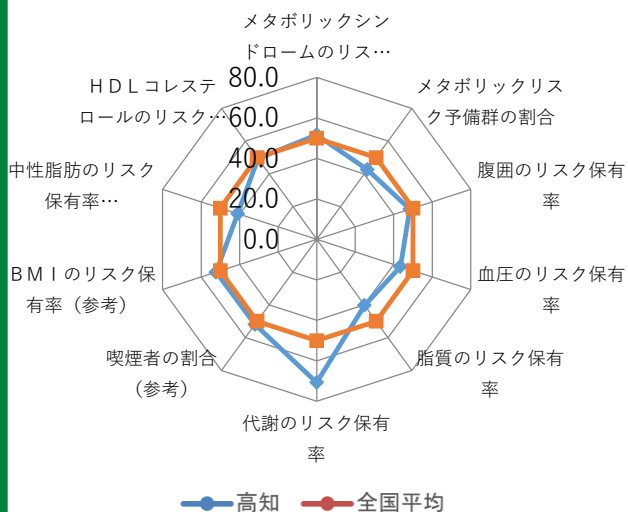
協会けんぽ令和元年度「業態別加入者基本情報、医療費基本情報」データから算出  
 ※全国平均は全体の「加入者基本情報、医療費基本情報」から算出

# 9. 全国平均と比較した高知支部のリスク割合

高知支部全体（偏差値換算）

男性（偏差値換算）

女性（偏差値換算）



項目		メタボリックシンドロームのリスク保有率	メタボリックリスク予備群の割合	腹囲のリスク保有率	血圧のリスク保有率	脂質のリスク保有率	代謝のリスク保有率	喫煙者の割合（参考）	BMIのリスク保有率（参考）	中性脂肪のリスク保有率（参考）	HDLコレステロールのリスク保有率（参考）
男女計	高知	15.4%	12.8%	35.9%	40.1%	26.6%	18.5%	33.5%	31.3%	19.3%	5.1%
	全国平均	15.2%	13.4%	36.2%	42.0%	28.1%	15.2%	33.0%	30.7%	20.4%	5.2%
男性	高知	21.4%	17.1%	48.1%	46.8%	33.9%	23.5%	43.5%	36.1%	26.5%	7.6%
	全国平均	20.9%	17.8%	48.4%	48.5%	35.0%	19.1%	42.2%	35.8%	27.0%	7.4%
女性	高知	5.8%	5.9%	16.5%	29.4%	15.1%	10.5%	17.6%	23.7%	8.0%	1.2%
	全国平均	4.9%	5.5%	14.5%	30.6%	15.7%	8.2%	16.4%	21.6%	8.7%	1.1%

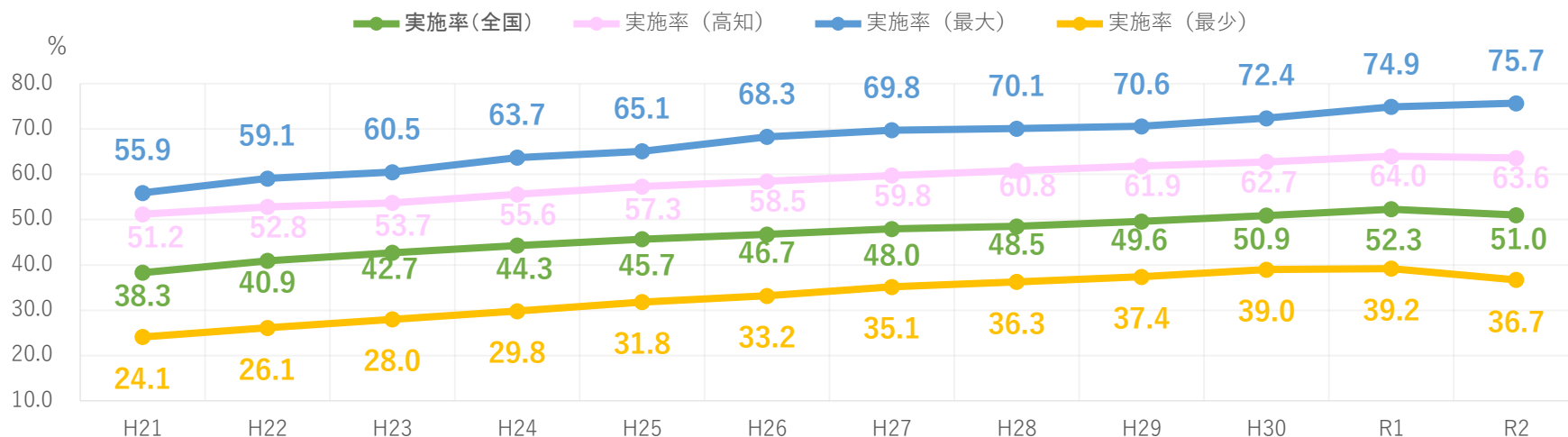
全国平均と比較すると高知支部は、「代謝リスク保有率」のリスクが高い。  
 男性と女性を比較すると、男性の方が大幅に数値が高くなっている。  
 全国平均と比較すると高知支部は、女性の数値が高くなっている。

## **健診、保健指導等の実施状況について**



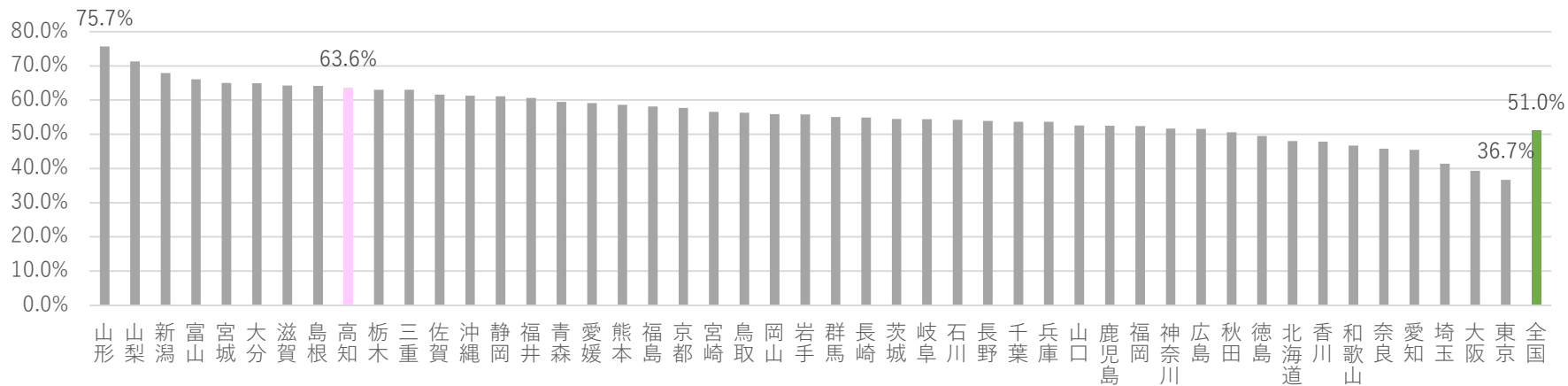
# 被保険者特定健診（生活習慣病予防健診）の実施状況

## 被保険者特定健診（生活習慣病予防健診）実施率の推移



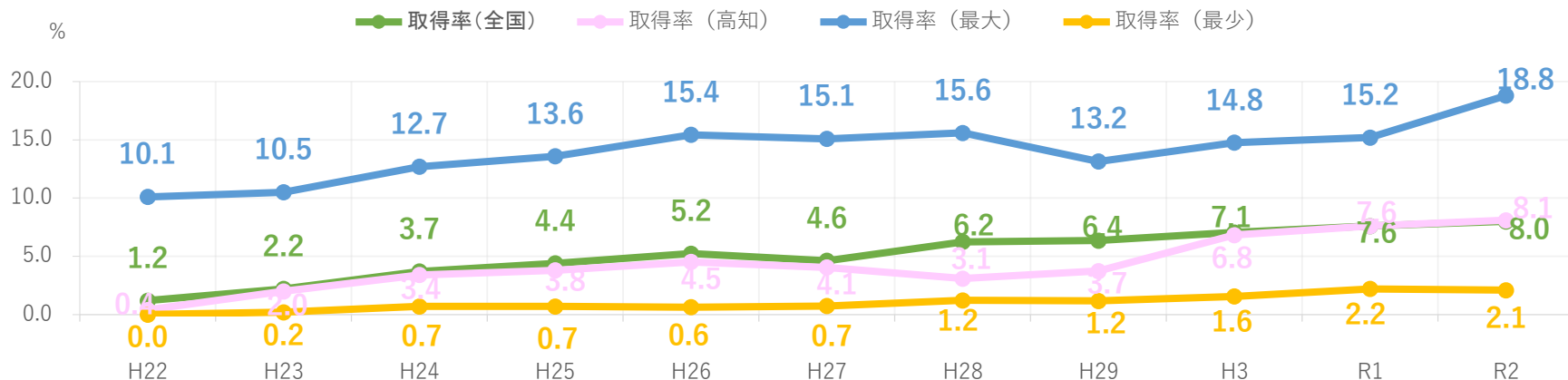
※40歳～74歳の被保険者（特定健診対象者）健診実施率を示す（年報及び事業報告書より集計）。

## 各支部における令和2年度被保険者特定健診（生活習慣病予防健診）実施状況



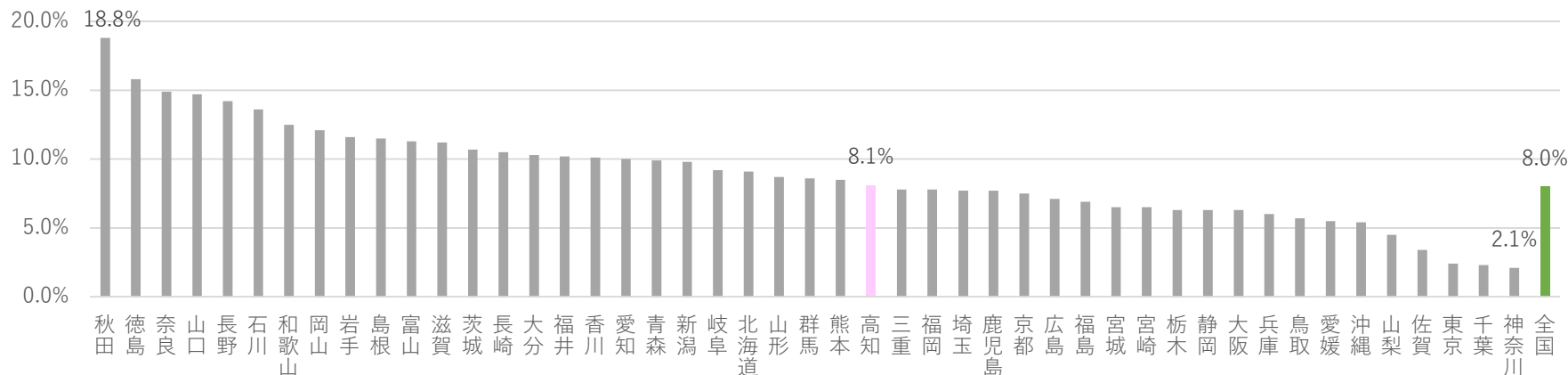
# 事業者健診データ取得の実施状況

## 事業者健診データ取得率の推移



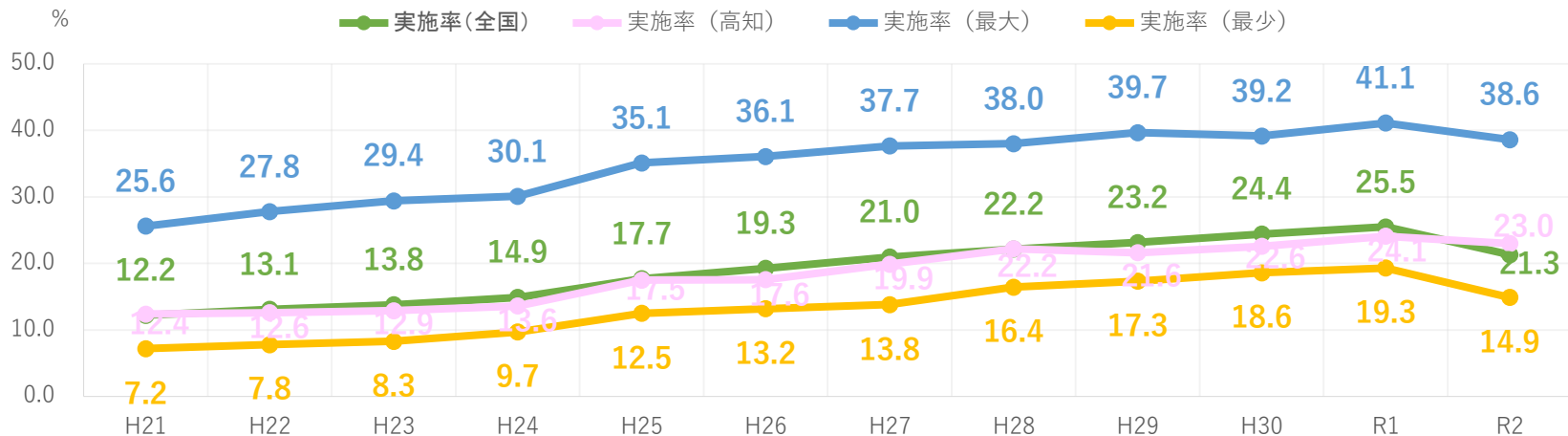
※40歳～74歳の被保険者（特定健診対象者）の定期健康診断（労安法健診）の取得率を示す（年報及び事業報告書より集計）。

## 各支部における令和2年度事業者健診データ取得状況



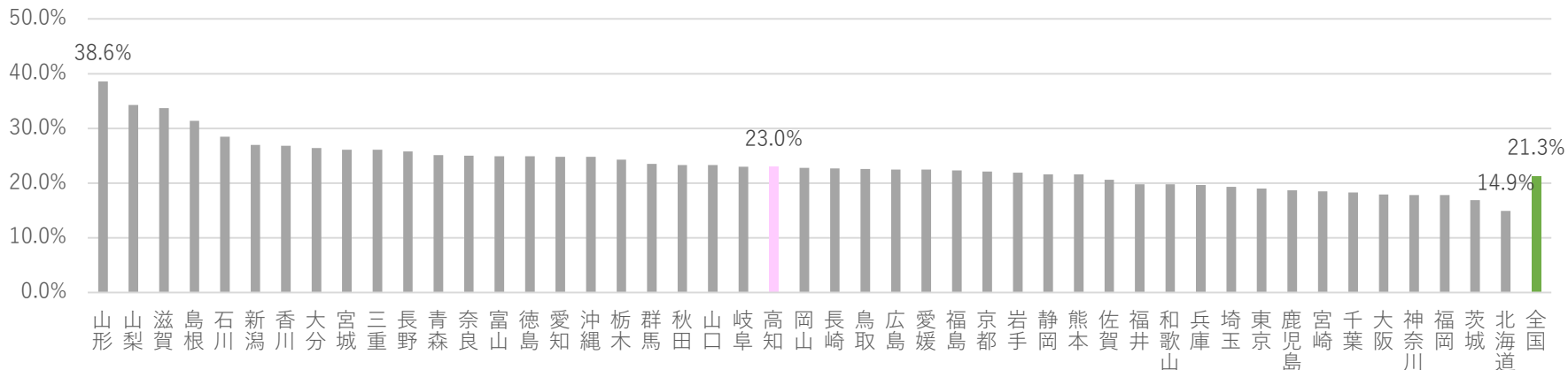
# 被扶養者特定健診の実施状況

## 被扶養者特定健診実施率の推移



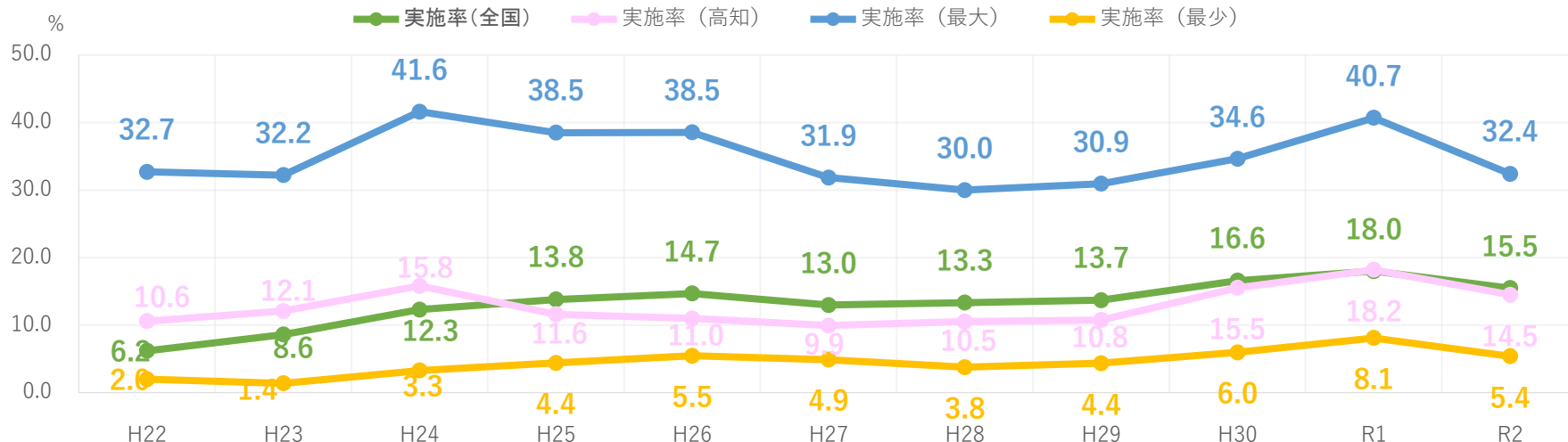
※40歳～74歳の被扶養者（特定健診対象者）の健診実施率を示す（年報及び事業報告書より集計）。

## 各支部における令和2年度被扶養者特定健診実施状況



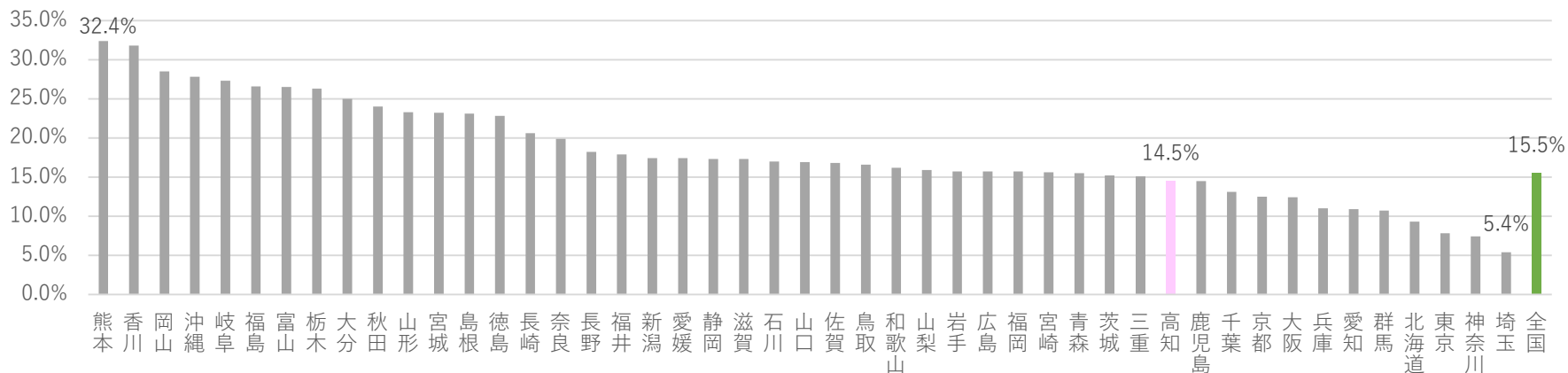
# 被保険者特定保健指導の実施状況

## 被保険者特定保健指導実施率（実績評価率）の推移



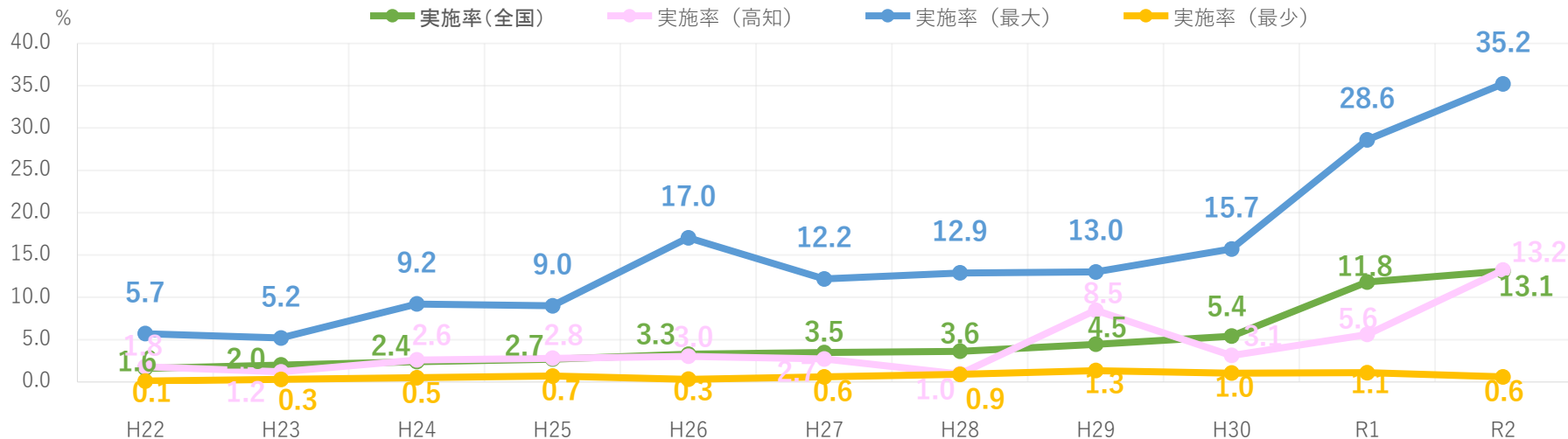
※40歳～74歳の被保険者（特定保健指導対象者）の特定保健指導実施率（実績評価率）を示す（年報及び事業報告書より集計）。  
 ※特定保健指導対象者とは、腹囲が85cm以上（男性）90cm以上（女性）またはBMI値（体重Kg÷身長m×身長m）が25以上で、血圧値が130以上（最高血圧）または85以上（最低血圧）、中性脂肪値が150以上またはHDLコレステロール値が40未満、血糖値が100以上またはHbA1C値が5.6以上の判定値に該当する方（服薬者を除く）。

## 各支部における令和2年度被保険者特定保健指導（実績評価）実施状況



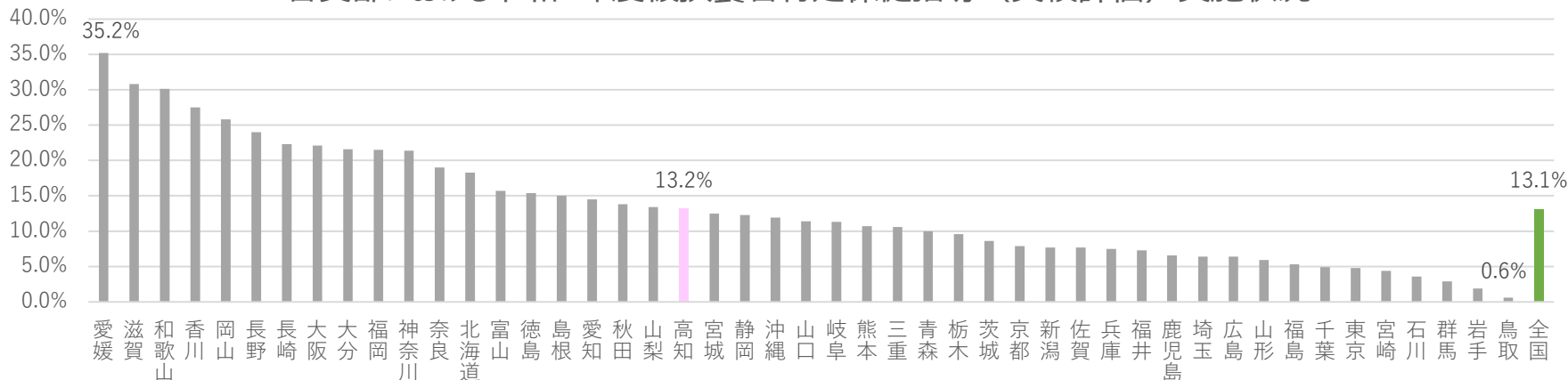
# 被扶養者特定保健指導の実施状況

## 被扶養者特定保健指導実施率（実績評価率）の推移



※40歳～74歳の被扶養者（特定保健指導対象者）の特定保健指導実施率（実績評価率）を示す（年報及び事業報告書より集計）。  
 ※特定保健指導対象者とは、腹囲が85cm以上（男性）90cm以上（女性）またはBMI値（体重Kg÷身長m×身長m）が25以上で、血圧値が130以上（最高血圧）または85以上（最低血圧）、中性脂肪値が150以上またはHDLコレステロール値が40未満、血糖値が100以上またはHbA1C値が5.6以上の判定値に該当する方（服薬者を除く）。

## 各支部における令和2年度被扶養者特定保健指導（実績評価）実施状況



# 重症化予防対策

糖尿病予備群

生活習慣病予防健診の結果をもとに、高血圧・高血糖で治療を受けていない者に対して、医療機関受診勧奨（一次勧奨又は二次勧奨）を行う。一次勧奨は、収縮期血圧160mmHg以上、拡張期血圧100 mmHg以上、空腹時血糖126mg/dl以上、HbA1c6.5%以上のいずれかに該当する受診勧奨対象域の方。二次勧奨は、収縮期血圧180mmHg以上、拡張期血圧110 mmHg以上、空腹時血糖160mg/dl以上、HbA1c8.4%以上のいずれかに該当する重症域の方。受診勧奨は、健診受診後6か月後に行い、例えば、令和2年3月の健診受診者に対しては、6か月経過後の令和2年9月に一次勧奨を行う。

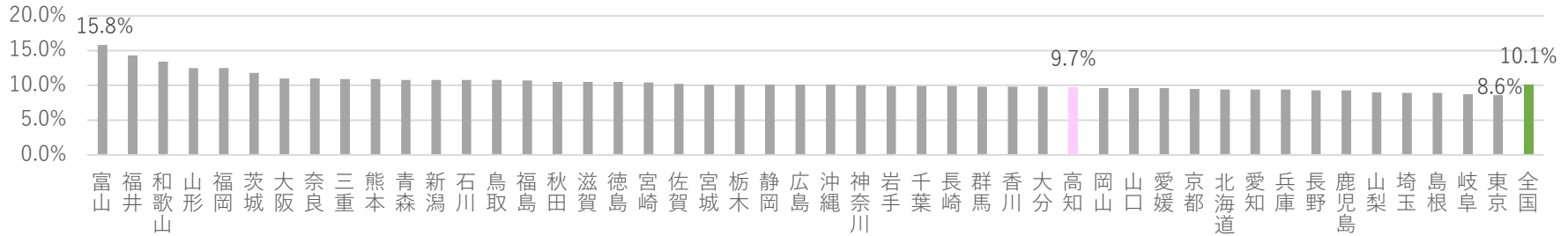
糖尿病発症を防ぐ

糖尿病性腎症発症

糖尿病性腎症患者に対してかかりつけ医と連携した保健指導等を行う。

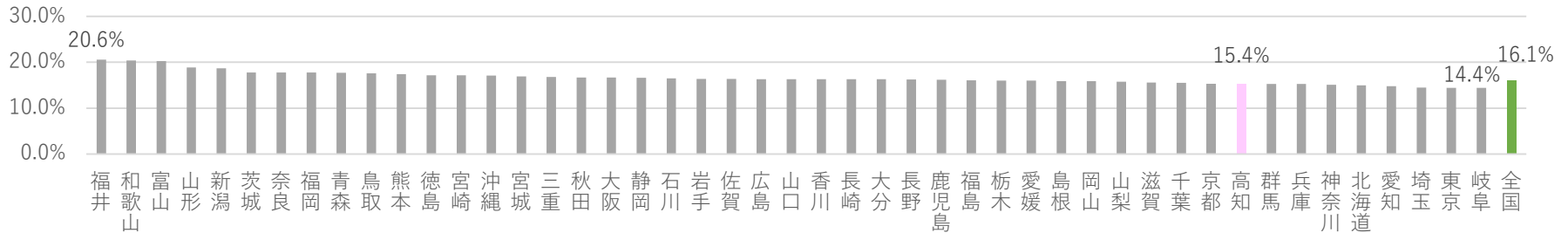
糖尿病性腎症による透析開始を防ぐ

一次勧奨通知発送後3ヵ月間の医療機関受診状況（令和元年度健診受診者）



※高知支部：一次勧奨通知発送後（対象者3,562名）、3ヵ月以内に医療機関へ受診した者345名（事業報告書より集計）。

一次勧奨通知発送後6ヵ月間の医療機関受診状況（令和元年度健診受診者）



※高知支部：一次勧奨通知発送後（対象者3,562名）、6ヵ月以内に医療機関へ受診した者548名（事業報告書より集計）。